

個人情報保護法施行下における よりよい検診事業を目指して

第36回鳥取県健康対策協議会理事会

日 時 平成16年6月2日(木) 午後3時～午後5時45分
場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
出席者 43人(役員35人、オブザーバー5人、事務局3人)
オブザーバー：県医務薬事課(都田主任)
県健康対策課(加山主幹)
鳥取県保健事業団(荻野理事、西川課長)
中国労働衛生協会(岩井診療所長)



理事43名に対し33名の出席があり、規約11条第4項により、過半数以上が出席のため、理事会の開催が成立。

会長挨拶

長田昭夫会長(鳥取県医師会長)

各分野で、大変な曲がり角であるということは、他の会議においても、冒頭の挨拶で申し上げております。特に各種検診の指針につきましては、国の施策の変化が大きいです。また、個人情報保護の問題も絡み合っておりますので、この問題については特にご討議頂きまして、報告と計画はなるだけ端折って、淡々と進めさせて頂きたいと存じます。ただし、問題点につきましては、拾い出して頂き、十分にご協議して頂きたいと思っております。

大学におかれましては、法人化に伴う相当厳しい評価の問題があると、学長さんより伺っております。また、鳥取県保健事業団につきましては、財団としての見直しがあるようです。

検診事業だけは、皆様のお力をお借りして、推進していきたいと存じますので、よろしくお願い致します。

副会長挨拶

井藤久雄副会長

国立大学が法人化され1年間が経過致しました。私どもにとりましては、教育、研究、診療に第4の任務として、社会的貢献、地域連携が掲げられたのですが、この鳥取県健康対策協議会はその最たるものと、私は考えている次第であります。

今回、能勢学長が誕生しまして、あえて医学部からやっておりますということと言わなくとも、ちゃんと新学長はご理解頂いておりますので、その点では非常にやり易くなったのかなと考えております。

一つだけ、最近の話題を申し上げますと、臨床研修医の必須化であります。約1年経ちましたが、医学部8年制化になったような感じがしておりま

す。先般行われました「全国医学部長病院長会議」におきましては、撤廃を含めた抜本的な見直しを提言されたことに賛成した方が約80%でした。研修の必須化はいい事であるが、このままでは、地方の医療が滞ってしまうという危機感が非常に強い。私もその中の一人であります。

鳥取大学で受け入れた研修医は平成16年度36名、平成17年度は25名です。学生にアンケートを行ったところ、将来、鳥取大学で研修を受けたいと回答した者は約6%でした。5年後、10年後の鳥取県の医師不足を危惧しております。

先生方におかけましては、大学だけではなく、地域全体で若い医学生、医師を育てていく。その実践の場の一つが、この健対協であるというふうに考えて頂きまして、ご支援の程お願い致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。

石田耕太郎副会長

21世紀の健康問題の一番の課題は、生活習慣病対策と言われております。そういう意味でも、この鳥取県健康対策協議会は大きな業務を持っていると思っております。特に検診機関が入った形での公開ということだと思います。

是非、皆様方のご協力を頂いて、県としての健康行政が進みますようにご支援を賜りますようお願い致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。

議事進行：議長の長田会長

議 事

1. 理事の異動

鳥取県福祉保健部次長	川 口 正 男
鳥取県長寿社会課長	三 好 圭
鳥取県健康対策課長	長 井 大
県保健所長会会長	吉 田 良 平
県衛生環境研究所長	杉 本 雅 美

4月1日より別紙のとおり就任された。(留任理事38名、新任理事5名)

任期は、平成18年3月31日までである。

2. 鳥取県健康対策協議会規約の一部改正について、宮崎理事より提案が別記(1)のとおり示され、承認された。

鳥取県の人事異動により、新たに5名の方が役員に就任して頂き、総数が43名となった。規約第6条によると、会長、副会長は理事とし、理事の定員は42名以内となっているが、今後、大学医学部等からの増員も見込んでいるので、規約を一部改正して、定員を45名以内とすることとなった。

3. 平成16年度鳥取県健康対策協議会事業報告(別記2)

各専門委員会の活動状況について、各専門委員長より資料をもとに説明、報告があった。(各種検診の平成15年度実績、平成16年度実績見込み、平成17年度事業計画は別表のとおり)

(1) がん登録対策専門委員会：岸本委員長報告

厚生労働省がん登録研究班のがん罹患の標準集計方式に従い平成13年の罹患集計をおこなった結果、罹患総数3,099件で、人口10万対粗罹患率は男609.6、女410.1であった。年齢調整罹患率(標準人口は60年日本人モデル人口)は、男388.3、女232.5であった。

鳥取県における罹患割合は、男女共に胃が最も高く、次いで男では肺、肝臓、結腸が高く、女では結腸、乳房の順であった。この集計結果を取りまとめた「鳥取県がん登録事業報告書」を作成した。

平成16年度は、近年の届出精度の悪化(DCN=36%)に鑑み、登録精度の向上をめざした県内医療機関への届出勧奨を健対協の会長名およびがん登録対策専門委員会委員長名で実施した。また、補充届出票による遡り調査(死亡票にがんの記載のある患者の中で鳥取県がん登録に届出のない患者について、過去に遡って当該患者のがん診断情報を収集するもの)も本年1月に発送で実施し、その結果、約6割の回答があり、登録精度に反映されるものと思われる。

さらに、腫瘍登録診断票の記入、届出に関する問題やがん登録への協力体制に関する実態調査を行い、がん登録に対する理解と認識、協力体制が不十分であること、届出票の記入、届出時期等の不明確な点が明らかにされた。その他、集計結果の還元、個人情報への配慮、登録方法の簡素化など多数の意見があった。

また、「鳥取県がん登録事業実施要綱(案)」を作成した。

全国がん登録協議会総会研究会が仙台市で開催され、メインテーマは「地域がん登録と疫学研究」であった。

厚生労働省がん登録研究班に参加し、「鳥取県における肥満とがん罹患の関連性に関する後ろ向きコホート研究」の研究報告を行った。

(2) 胃がん対策専門委員会：岡本委員長報告

平成16年度検診実績見込みは、検診対象者数170,411人のうち、受診者数は市町村合併が相次いだ影響を受けて現段階では正確な数値とは言えないが、前年度より約6,000人減少の約42,000人を見込んでいる。平成15年度の受診者数は48,046人で、受診率は27.9%で、内視鏡検査実施割合が増加している。精検の結果「がん」及び「がん疑い」は188人で、そのうち確定胃癌は156人で、がん発見率は0.32%である。早期発見癌率は70.5%と高率で、また、内視鏡的切除も増えている。

また、「胃がん検診受診票様式」が作成され、平成17年度より適用することとなった。受診票は一枚の用紙にX線検査、内視鏡検査の結果欄を設けた受診票とX線検査、内視鏡検査の受診票を別々にしたものが示された。市町村の実施状況で利用しやすい様式を選んでもらうこととなった。統一的な受診票を市町村に示しても、使用しない市町村があるので、周知徹底に努める。なお、受診票中、内視鏡検査の判定欄に記載されている選択項目の定義については、以下のとおりである。

要 精 検：組織診検査を必要と読影委員が判断した場合。

精検不要：所見(ポリープ、胃潰瘍)があるが、治療の必要がないもの

要 再 検：内視鏡検査の写真が映りが悪い、または、所見があり、フォローアップの必要な症例により再度検査をする場合。

従事者講習会及び症例研究会を西部で開催した。また、各地区読影会においても症例研究会を開催した。

(3) 子宮がん対策専門委員会：大石委員長報告

平成16年度検診受診者数は、前年度より約2,700人減の約24,700人を見込みである。平成15年度検診実績を見てみると、例年通り30歳代の受診率は低い約6割は新規受診者が占めており望ましい傾向に思われる。また、30歳～40歳代の要精検率・がん発見率は依然として高い。また、要精検者はがん発見率が高いので、精密検査を早期の受診勧奨が必要である。

国の指針改正に準じて、「鳥取県子宮がん検診実施指針」の一部改正について検討を行い、平成17年度より適用することとなった。

子宮頸部がん検診対象者は20歳以上で、原則として同一人について年に1回行うものとする。(国は隔年検診)また、子宮体部がん検診の対象者は子宮頸部がん検診の対象者のうち問診等の結果、医師が必要とみとめたものとする事となった。

ただし、日本産科婦人科学会を中心とする関連学会等によって作成されるガイドラインが出されてから、再度検討することとなった。

従事者講習会及び症例研究会を西部で開催した。

(4) 肺がん対策専門委員会：中村委員長に代わって宮崎理事報告

平成16年度は対象者数178,762人のうち、受診者数は59,707人で、前年度より約4,000人減少し、受診率は33.4%で前年度より2.2ポイント減少する

見込みである。

平成15年度の受診者数は63,649人で、受診率は35.6%であった。要精検者数640人、要精検率1.01%、精検受診者数489人、精検受診率は76.4%であった。受診率は横這い状態であるが、要精検者数、精検受診者数の増加は著しかった。しかしながら、精検受診率は依然として低く、この点はさらなる改善を図る必要がある。精検の結果、肺がん又はがんの疑いのある者は78人で、そのうち、確定肺がん69人で、がん発見率は0.11%となり、これらはすべて過去最高の数字であった。これは、X線検査D判定のうち、がんの疑いがあるものはE判定にするようにということが徹底された結果だと思われる。平成15年度は近年の傾向に反して、男性の扁平上皮癌が多く発見された。また、腫瘍径の大きな進行癌が多く発見され、手術症例が減少した。今後は肺がん検診の精度管理の上で、検診での見落とし症例がないかどうか経年受診者で検討を加えることになった。

また、平成17年度から「保健所における結核精密健診が廃止」されることとなり、「要検査（D判定）のうち、胸部疾患が疑われる者」については、結核予防法による指定医療機関（CTスキャン装置を有する医療機関が望ましい）で検査を受けるよう受診勧奨することとし、実施指針の一部改正を行い、平成17年度の検診から適用することとした。

胸部X線の新読影判断基準が正式決定され、周知徹底することが確認された。また、精密医療機関の登録基準の再検討も今後の課題とされた。

従事者講習会及び症例検討会を西部で開催した。

(5) 乳がん対策専門委員会：工藤委員長報告

平成16年度の受診者数は27,969人で、前年度より約4,000人減少する見込みである。

平成15年度検診受診者数は31,539人で、受診率は24.7%、そのうち要精検者数1,115人、要精検率3.54%で、精検受診者数985人、精検受診率88.3%

であった。精検の結果、確定癌は48人で、がん発見率は0.15%で、過去最高であった。

確定癌が過去最高だったのは、平成11年度から一部の町村でマンモグラフィ併用検診を導入しているところがあり、その影響が要精検率が僅かずつ増加傾向にあり、また、精検受診率も前年度より6.5ポイントも増加したことによると思われる。

国の指針改正に準じて、「鳥取県乳がん検診実施指針」を一部改正し、平成17年度より適用することとした。主な内容は以下の通りである。

(1) 乳がん検診対象者は40歳以上で、原則として同一人について2年に1回行う。検診項目は、問診、視触診並びに乳房エックス線検査とする。実施方式は、視触診と乳房エックス線写真の撮影を同時に実施する「同時併用方式」、または一次検診医登録制を活用した「分離併用方式」とする。また、乳房エックス線フィルムの読影は「鳥取県乳がん検診マンモグラフィ読影委員会委員」で行うこととした。また、これまで乳がんの二次予防として啓発普及してきた自己検診を日常の健康管理の一環とし、自己触診に変更し、引き続き啓発していく。

また、「分離併用検診体制」を行うに当たって、マンモグラフィ撮影だけ行う医療機関もあるので、平成17年度より新たに「鳥取県乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録実施要綱」を設置することとした。平成17年度より16医療機関の登録が承認された。

現行の「乳がん検診精密検査登録医療機関実施要綱」も一部改正し、乳房撮影装置の基準、乳房撮影を行う診療放射線技師の基準項目を追加した。平成17年度より14医療機関の登録が承認された。

従事者講習会を東部と中部で開催した。各地区でも症例検討会を開催し、平成17年度の乳がん検診体制についての説明をそれぞれ行った。

(6) 大腸がん対策専門委員会：宮崎委員長報告

平成16年度の受診者数は51,891人で、前年度よ

り約4,300減少する見込みである。各地区注腸読影指導会は全県で98回開催され、読影件数419例、そのうち要内視鏡は120例で、要内視鏡率は28.6%であった。内視鏡検査実施割合が増えたため、注腸の症例数は年々減少している。

平成15年度の発見がん患者確定調査結果は、確定癌147例のうち早期がんは94例で、早期癌率は63.9%で、平成14年度より11.1%も高い結果であった。また、発見癌のうち62例(42.2%)に内視鏡治療が行われた。また、逐年受診発見進行がんは20例であった。

平成15年度より、1日2個法(1回の採便において、2検体を採取する方法)を導入した結果、導入した26市町村と前年度は2日法の同26市町村の実績を比べると、1日2個法のがん発見率が高かったという結果が出ている。このデータについては、平成16年5月に開催された「日本消化器集団検診学会総会」のシンポジウムにおいて発表した。また、1日2個法の論文が日本消化器集団検診学会雑誌に掲載された。

従事者講習会及び症例研究会を西部で開催し、各地区でも講習会等を開催した。

(7) 肝臓がん対策専門委員会：川崎委員長報告

平成15年度より単県事業の肝臓がん対策事業(平成7年度より開始された鳥取県肝臓がん検診)の検査方法を基本健康診査における肝炎ウイルス検査(平成14年度より開始された国庫事業)と同一とした。

平成15年度は、単県事業の肝臓がん対策事業あるいは基本健康診査における肝炎ウイルス検査のいずれかまたは双方の肝臓がん検診が36市町村で実施された。対象者数59,859人のうち、受診者数は6,211人(単県事業の肝臓がん対策事業1,365人・基本健康診査における肝炎ウイルス検査4,846人)で、受診率は10.4%であった。受診者数におけるHBs抗原陽性率は2.02%、HCV抗体陽性率は1.00%であった。精検の結果、肝臓がんまたは肝臓がん疑いの者は1人もなかった。

平成7年度から平成15年度の9年間を集計すると、平成7～9年度の検診時において、市町村から報告のあった対象者数192,315人に対し、受診者数83,280人、推計受診率43.3%である。そのうちHBs抗原陽性者は2,153人(2.59%)、HCV抗体陽性者は3,305人(3.97%)であった。

検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査からは、肝臓がんまたは肝臓がん疑いと診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が3人(受診者数の0.5%)、C型肝炎ウイルス陽性者が15人(受診者数の2.3%)であった。

平成7～15年度肝臓がん検診発見がん患者の追跡調査を行った結果、確定がんが17例であった。また、平成10～15年度定期検査確定がんが40例であった。

平成16年度の受診予定者数は県事業の肝臓がん対策事業530人、国庫事業の肝炎ウイルス検査4,416人、市町村単独事業484人である。

従事者講習会、症例研究会を東部で開催した。

また、8年間の成果を取りまとめた「鳥取県の肝臓がん対策」の冊子を600部作成し、関係先に配布した。

(8) 若年者心臓検診対策専門委員会：小竹委員長が報告

心臓疾患精密検査は、平成16年度まで保健所を一次会場にして実施されてきたが、近年、保健所の検診機能の見直しが行われてきており、平成17年度からはその使用が困難となった。県費事業の一次精密検査が廃止となると、学校現場の混乱が予想されるため、とりあえず1～2年の移行措置を設け、その間は、検診会場を東部・西部医師会館と鳥取県立厚生病院とし、現行の一次精密医療機関の担当医に検査を行ってもらうこととなった。二次精密検査は従来通り、現在指定されている精密医療機関(県立中央病院、県立厚生病院、鳥取大学病院)で行うものとする。

移行措置後は、精密検査の要件を充たす医療機関を増やすことで対応していく予定である。その

際は、登録条件の整備を行い、講習会等の受講を義務付けるものとする。

また、現在、学校における心電図判読結果は鳥取県保健事業団および山陰予防医学研究所を通じて学校長に、さらに、健対協より校医に通知しているが、各学校長、養護教諭より校医に結果報告が行われているので、個人情報の取り扱いの観点からも、平成17年度より健対協から校医に送付することは中止となった。

児童・生徒の心電図検診、心臓精密検査をおこなっている。結果は以下のとおりである。

心電図検診は、25,726名が受診し、そのうち、要精検者数926名で、要精検率は3.6%であった。また、至急受診は32人で、QT延長、不整脈が多いが、特に重篤者はいなかった。

定期健康診断の結果、一次心臓精密検査対象者は1,062名で、このうち1,033名が一次検診を受診した。(受診率97.3%)このうち、第二次精密検査の受診が必要とされた者は104名で、要精検率10.7%であった。二次検診の結果、学校生活規則(E区分)が必要なものは76人、管理不要と異常なしが23人であった。

平成17年1月6日、名古屋市において第37回若年者心疾患対策協議会総会が開催された。

(9)母子保健対策専門委員会：神崎委員長に代わって長田会長が報告

母子保健指標の推移については、合計特殊出生率が全国第3位、伸び率が全国1位で本県の少子化対策事業が注目された。

「鳥取県乳幼児健康診査マニュアル」の改訂版を作成

5歳児健康診査実施体制整備事業は、26市町村が実施した。健診医養成講習会、5歳児健診マニュアルの作成、従事者意見交換会を開催した。

先天代謝異常等検査の実施体制について

健対協では本事業の精度管理及び先天奇形の調査・解析を目的に、この検査に係る関係用紙の印刷、送付、結果通知等の業務を行ってきた。しか

し17年4月以降は本業務を県からの委託検査機関において行うこととなった。変更点は検査結果に異常がある場合、採血機関より保護者に連絡していただく。全国共通の検査濾紙を使用するである。

また、要綱に同意書の様式を明記することになった。

周産期医療体制については、総合周産母子医療センターの設置を目指す。

新生児聴覚支援検討会で「新生児聴覚検査と聴覚障害児支援のための手引き(暫定版)」を作成、試行的に実施することとした。検査結果の説明は1ヶ月健診時が妥当となった。来年度も、検討会の設置、研修会の開催、保護者への啓発のチラシを作成する。

(10)疾病構造の地域特性調査対策専門委員会：岡本委員長報告

平成16年度は以下の5項目について調査を行った。報告集は現在、印刷中である。

在宅医療に関する疫学調査

鳥取県西部地域の郡部の町立病院、市内の病院、市部周辺の病院において、平成15年4月1日から平成16年3月31日の間に入院し、退院した患者について医療施設への訪問調査等を行った。

調査対象となった病院は、基本的に医療やケアについて「自宅で介護できる患者は、出来るだけ在宅でケアして、在宅ケアできなくなったときに施設でひき受ける」ことを方針として運営されていた。その結果、調査対象となった3病院からの退院患者の6割以上が自宅復帰をしていた。また、在宅復帰を主な目標として治療にあたり、老健施設や介護施設を同時に経営したり、連携するシステムがかなり構築されていることが分かった。

早急に在宅医療を視野に入れた地域医療体制を行政や関係者が整えるように努力する必要がある。

鳥取県における大動脈瘤患者の発生頻度と治療の調査

昨年、新しい危険因子として、血中MCP-1を報告した。

大動脈瘤の発生には、マルファン症候群など遺伝的因子の関与が明らかになっていることから、今回、遺伝的因子を検討した。家族内発生や多発性発生の遺伝的因子を持つ4例では、拡大速度に有意差は証明されず、拡大傾向に与える直接的影響は確認できなかった。また、IL-6やMCP-1も遺伝的因子との有意な関係は証明されなかった。従って、発生機序に關与する遺伝的因子と瘤の拡大傾向とは異なる病態の可能性が考察される。

鳥取県における透析患者の実態と治療に関する疫学調査

鳥取県内公的9病院の看護師2,200名を対象として臓器提供及び脳死に関する意識調査を実施した結果、意思表示カードの所持率は22.8%であった。看護師としての経験年数と脳死に関する知識とは関係がなく、むしろ、経験年数と臓器提供の意志は逆相関する傾向があった。臓器提供に肯定的な看護師では、脳死と心臓死との関連をよく理解し、何れの状況でも同様に提供の意志を表示していた。

鳥取県臓器バンクでは移植医療の普及を目的として、鳥取県内の16病院の協力を得て移植に関する担当者を選任し、これまでに情報提供・交換を目的とした実務者会議を4回、開催した。会議では参加者の意識・知識レベルが異なるため、その実態を探る目的で26名を対象としてアンケート調査を実施した。その結果、医療サイドにおける移植医療への戸惑いがあり、院内コーディネーターの役割を十分に認識していない現状が浮き彫りになった。

鳥取県では4施設（県立中央病院、山陰労災病院、国立米子病院、博愛病院）で2004年12月までに生体腎移植53例、献腎移植8例、総計61例の腎移植が実施されている。この内、腎移植後19年以上経過した長期生着7症例について解析した。

患者は男性4例、女性3例で移植時平均年齢は23.0歳であり、生着年数は平均23.4年であった。

血清クレアチニン値は0.6～1.6mg/dlであり、3例ではこの3～4年間に軽度上昇していたが、その原因としては慢性移植腎症、IgA腎症再発等が考えられた。

近年、新規免疫抑制剤の導入により移植後1年目の移植腎生着率は90%以上となっているが、2年目以降の生着率は改善していない。高血圧、高脂血症、肥満等の予防、免疫抑制剤の適切な投与により生着期間のさらなる延長が期待される。

肺癌の早期診断に関する調査

肺小細胞癌特異性を利用し、ProGRP測定を肺癌検診に応用するための検討をおこなった。

肺がん検診と、一般検診を同時に行う予定で、研究の趣旨に理解を頂いた3市町村267検体についてProGRP値の測定を行った。proGRP値はきわめて低く、且つ地域差はなかった。しかしながらどの地域においてもこれら値に比べて高値の一群をみとめ、最高値は49.9pg/mlであった。

ProGRPを肺癌実地診療に用いるときのcut off値は46pg/mlである。これに対して検診受診群（ほぼ健常者群と考えられる）における測定値の分布についての検討はいまだ行われていないが、本研究によるとそれは7～8pg/mlときわめて低値であることがわかった。これに対して、本研究により20～30pg/ml台といった、cut off値よりは低いが、検診受診群のなかでは高値を占める新たな一群があることが明かとなった。このような「軽度ProGRP上昇群」が、肺癌の潜在的riskをもつ群なのかどうかは、今後の本研究による、罹患調査追跡結果で明らかになるものと考えられた。

C型慢性肝炎の肝線維化ステージに関する調査

従来より線維化予測式として報告されているAST/PLT、Forns indexと今回作成したFibroIndexの臨床的有用性を検証するために、新たな慢性C型肝炎101例に適応し比較検討した。肝生検を施行された慢性C型肝炎101例（男性66例、女性35例、平均年齢48±11歳）を新たな対象とした。線維化の程度は同様にF0-F4の5段階に分類した。ただし今回は対象からF4（肝硬変）

症例は除外した。

我々が作成したFibroIndexは慢性C型肝炎でのstage F0-1とF2-3、F0-2とF3において、AST/Platelet比、Forns indexと比較して、より肝線維化の程度を分別するのに有用であることが明らかとなった。

今後はインターフェロンなどの抗線維化治療を行った症例において治療効果とFibroIndexの変動を縦断的検討によって評価したい。

(11) 公衆衛生活動対策専門委員会：武田委員長報告

健康教育事業

県医師会では「健康セミナー」の開催(羽合町)、日本海新聞に「保健の窓」、「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を掲載、健康会館を利用した毎月1回開催の「鳥取県医師会公開健康講座」を実施、うち8回を生活習慣病対策セミナーについて実施した。東、中、西部においても生活習慣病対策セミナーを計16回実施した。

地域保健対策

平成16年度からは、調査研究事業として鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学清水英治教授を中心に、「新規抗菌素材による呼吸器ウイルス感染予防法の検討」を行うこととなった。

感染予防の一つとしてN95規格医療用マスクが広く使用されているが、呼吸に苦痛を感じることもある。今回、マスク濾過面積を増加させ、重量を軽くしたN95規格医療用マスク(用瀬電機製)が新規開発された。この新規開発N95規格医療用マスクの表面には、トリインフルエンザ、ヒトインフルエンザ、SARSウイルス類似のトリコロナウイルスに対し抗ウイルス作用を有するドロマイト(BR-p3)が噴霧してある。医療従事者に新規開発N95規格医療用マスクと現在使用されているN95規格医療用マスクを実際に使用してもらい、主観的な使用感、呼吸困難感についてアンケート調査を行った結果、使用感に関する主観的な面においては有意差がなかったが、今回開発のマ

スクは濾過面積がN95規格医療用マスク8210より1.47倍大きいこともあって、息苦しさは小さい傾向が認められた。

今後、抗ウイルス作用については動物実験等で確認する必要があるが、臨床的有用性が期待できると考えられる。

生活習慣病対策事業

各地区医師会においても、教育講演会、座談会を開催している。東部では東部医師会市民公開健康講座を行い、中部医師会では毎年「中部健康セミナー」を開催している。

また、鳥取県健康会館において、面談による健康相談を毎月第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は小児科と整形外科で隔月に行っており、39件の相談があった。平成16年度から新しく設けた整形外科の相談件数が16件と多かった。

その他

「C型肝炎ウイルス母子感染調査研究事業」は開始後10年以上経過しているため、本委員会は平成15年度をもって終了することとなった。しかし、調査の意義を認め、当分の間、特別事業として引き続き継続実施することとした。

(12) 脳卒中登録対策専門委員会：能勢委員長報告

脳卒中登録事業は昭和59年より開始されており、2004年末までに延べ36,060件の届出があり、20,071件が登録された。平成16年は1,089件が新規に登録された。

鳥取県脳卒中登録情報システム事業の見なおしを行った結果、本来の目的である罹患率の把握は難しく、近年登録数も横ばいであり解析結果の信頼性が得られていない。登録数を増やす働きかけを行うにも介護保険制度と重複する部分が多く、理解を得るのが困難となっている等の理由により、この事業は平成16年12月31日で中止した。

なお、今後は、脳卒中発症者の再発や生活機能の低下による要介護状態への移行等を予防する必要があるため、『診療情報提供制度』を活用して

頂き、居住地市町村における保健・福祉サービスが円滑に提供されるよう、市町村、保健所、医療機関等の関係機関に周知した。

また、今後の脳卒中の発症予防対策（生活習慣病予防対策）については、「公衆衛生活動対策専門委員会」、「循環器疾患等対策専門委員会」において検討していきたい。

(13) 循環器疾患等対策専門委員会：富長委員長報告

平成16年度の受診者見込み数は66,646人で、前年度とほぼ同じである。平成15年度実績は、受診率は39.8%で、近年、70歳以上特に後期高齢者の受診者が増加傾向にある。また、異常者率は87.4%で、年々と増加傾向にある。平成15年度新たに加わった尿酸測定において、高尿酸血症は、男性16.2%、女性3.3%、全体では7.6%であった。また、平成15年度肝炎ウイルス検査では、受診率13.3%、HBs抗原陽性率1.8%、HCV抗体陽性率1.1%であった。

平成16年度の個別健康教育は高血圧1町、糖尿病13市町村、高脂血症5市町村、喫煙が3町で実施されている。この個別健康教育は、市町村事業としては費用対効果が上がり、全国的に実施市町村が減少の傾向にあるようであるが、本県でもその傾向が見られる。当該補助金に関しても、今後、縮小、見直しを検討されているようである。

脳卒中情報システム事業の見直しに伴い、その受け皿としての当委員会の役割について議論がなされた。

現在、国の「老人保健事業の見直しに関する検討会」において、老人保健事業の見直しが行われており、研究班では対象者の算定方法等標準化に向けての検討が進められているとのことである。よって、国の動向、市町村の実態調査を見極めながら今後さらに検討を行うこととしている。

また、その検討会においては、介護保険制度の構造転換に伴い、現行の老人保健事業と、介護予防・地域支え合い事業を統合し一体的にサービス

提供を行うため、65歳以上は介護予防に重点を置き、老人保健事業から分離して地域支援事業として事業実施することの検討が行われている。

鳥取県においては基本健康診査受診者のうち65歳以上の者が約65%を占めており、18年度以降仕組みが大きく変わってくることが予想され、国からの具体的な方針を受け検討を行っていく。

従事者講習会を東部で開催した。

(14) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：金井委員長報告

健康情報の発信及び推進

鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会を活用し、県民への健康情報の発信及び推進を行っている。同協議会では、医療・福祉・環境部会のコンテンツとして、中海テレビ放送（有線）が番組を作成している。平成16年10月から11月の鳥取県医師会公開健康講座を中海テレビが収録し、県西部で放映された。

医療分野における情報化検討会等の意見の反映

平成16年度に情報化検討会を2回開催し「鳥取県医療情報化プラン（案）」を策定した。当面構築すべき課題として、「医療機関情報提供システム」、「医療機関テレビ会議システム」、「病連携、病診連携システム」があり、将来的に構築すべきシステムとして、「地域電算化カルテ共有システム」、「地域診療要約情報共有化システム」、「地域健康情報保存ASPシステム」があげられた。

「病連携、病診連携システム」では、鳥取情報ハイウェイや市町村イントラネットにインターネット等の利用環境の整備が必要であるが、医療画像や紹介状を伝送し、遠隔診断や紹介患者の患者情報の交換を行うことができる。遠隔画像診断は鳥大医学部、県立中央病院で開始されている。基本的なシステムと各医療機関に設置する端末・通信機器等、各施設で費用負担を要する部分があり、県内でシステムに参加希望する医療機関がどの程度あるか調査を要する。

地域医療研修について

平成16年11月21日、「鳥取県地域医療フォーラム」を鳥取県健康会館で開催し、医療関係者約130人が参加した。

(15)アレルギー性疾患対策専門委員会：三原委員長報告

花粉症について正しい知識の普及を図る目的で、「花粉症～上手につきあいましょう～」と題したパンフレットを10,000部作成した。また、作成したパンフレットは県のホームページ〔とりネット〕にも掲載する予定。

また、アレルギー性疾患研修会を東部において開催し、「花粉症の診断と治療」と題しての講演があった。

(16)鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会：長田部会長報告

平成16年度の成人病検診管理指導協議会総合部会は平成16年8月26日、平成17年3月24日の2回開催した。報告内容は各委員会でそれぞれ報告されているので省略致します。

4.平成16年度鳥取県健康対策協議会決算書について、岩垣主任が説明し、承認された。(別記3、4)

県支出金は当初の予算通りであったが、鳥取県保健事業団支出金、市町村委託金、その他委託金については、事業の減少によりそれぞれ減額補正を行った。よって、収入合計額53,179,706円に対し、支出合計額は51,900,672円、収支差引額は1,279,034円となり、平成16年度に繰り越した。

5.平成16年度鳥取県健康対策協議会表彰基金決算書、特別事業積立金について、岩垣主任が説明し、承認された。(別記5、6)

「表彰基金」は、昭和58年9月、健対協が保健文化賞を受賞した時の副賞の賞金を基金として、それ以降、毎年の鳥取県健康対策協議会会長表彰等で支出を行っている。本年3月末現在の基金総

額は843,317円である。

「特別事業積立金」は、昨年5月の理事会において、この積立金の一部を取り崩して、特別事業「C型肝炎ウイルス母子感染調査研究事業」に係る所要経費に充てることが承認された。よって、年度当初定期預金積立金6,003,858円のうち、2,001,297円を取り崩し、普通預金に繰り入れ、残りの4,003,853は定期預金としている。

また、普通預金に繰り入れた2,001,319円のうち、検査料、関係用紙印刷代等経費288,220円を支出して、収支差引残額1,713,099円となり、平成17年度へ繰り越した。

6.監査報告

吉中監事より、5月26日監査した結果について適正であった旨の報告があった。(別記7)

7.専門委員会の構成(案)及び専門委員会委員長及び委員の補充、鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会委員について承認された。(別記8～12)

8.平成17年度鳥取県健康対策協議会事業計画(案)について(別記13)

各専門委員長より本年度の事業計画について、それぞれ説明され了承された。

(1)がん登録対策専門委員会：岸本委員長説明

平成14年標準集計。がん検診の精度評価の検討、生存率協同調査、登録精度の向上のための届出勸奨を行う。また、補充届出票による遡り調査と各種検診発見がんの未登録分の登録を行う。

がん登録データと各種がん検診受診者データをリンクすることにより、がん検診システムの精度指標(敏感度、特異度)を示すことが可能である。しかし、昨今の個人情報保護とのからみもあり、現状では全検診受診データの活用に向けて、鳥取県がん登録事業実施要綱の改正と鳥取県個人情報審議会への諮問を計画している。また、「鳥取県

がん登録実務者説明書」の改編に取り組む。

第3次対がん10ヵ年総合戦略における地域がん登録の整備に向けた行動計画への参画、全国地域がん登録協議会、厚生省がん登録研究班への参画。

(2) 胃がん対策専門委員会：岡本委員長説明

平成17年度は約53,000人が受診予定。また、「検診発見胃がん患者個人票」の記載洩れが大変多い。特に、内視鏡切除の症例は大きさ、深達度等の未記入が多いので、治療機関は正確に記載して頂くようお願いし、精度管理に努める。

従事者講習会及び症例検討会を中部で開催予定。

胃がん検診精密検査登録医療機関の更新を行う。

また、日本消化器集団検診学会中国四国地方会・中国四国地方会胃集検の会にも参加する。

(3) 子宮がん対策専門委員会：大石委員長説明

平成17年度は対象者を20歳以上に引き下げることにより、受診者数は約8,300人増の約33,000人の予定である。

若年者へ子宮がん検診の必要性や検診内容を周知する必要があり、市町村が対象者に広報で受診勧奨する際のヒナ型を作成する。

また、本県の精密検査受診者の約半数から子宮がんまたは子宮がん疑いが発見されていることから、精密検査の早期受診を勧奨する文書を作成し、平成17年度の検診から活用してもらうよう市町村へ周知した。

子宮がん検診従事者講習会と症例検討会を開催予定。

子宮がん検診精密検査登録医療機関の更新を行う。

(4) 肺がん対策専門委員会：中村委員長に代わって宮崎理事説明

宮崎理事説明

平成17年度は前年度より約9,800人多い、約69,600人を受診予定している。

肺がん検診の精度管理の重要性を再認識し、確定・予後調査を継続していくためには、胸部X線の新読影判断基準を準拠して、E判定から発見される肺がん症例を増加させる。また、早期肺がんを多く発見するために、経年検診者のレトロスペクティブな解析を行っていく。

また、個人情報保護法に基づき今後は検診の受診勧奨のあり方や発見肺がんの予後追跡調査をどのような形で続けていくか検討を要する。特に、肺がん予後調査はこれまでの症例の蓄積により、大変貴重なデータとなっているので、今後も継続できる方策を検討する必要がある。よって、「鳥取県個人情報審議会」へ諮問を行う等を検討している。

従事者講習会及び症例検討会を中部で開催予定。

(5) 乳がん対策専門委員会：工藤委員長説明

平成17年度から、全市町村で40歳以上にマンモグラフィ併用検診を実施することとなり、実施体制等が決められたが、実際面ではまだ不備の部分が多く、実施しながら修復していく必要がある。また、鳥取県保健事業団がマンモグラフィ搭載車を平成16年9月に1台購入したので、うまく運用すれば、住民の利便性の向上に役立てることができると思われる。

集団検診の質的向上として、高危険群の受診勧奨、要精検率、精検受診率の向上を目指す。また、30歳代が検診対象者から外れたので、自己触診に対する啓発活動をいかにするかが重大な問題である。

乳がん医療機関一次検診医登録。乳がん一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関の登録。

従事者講習会及び全県症例検討会を中部で開催予定。また、各地区症例検討会も開催予定。

(6) 大腸がん対策専門委員会：宮崎委員長説明

集検事業の推進。平成17年度は55,645人を受診予定している。

受診票の問診項目を改正し、「問診要注意」と区分された者については、医療機関での受診勧奨を行うこととする。発見大腸がんの確定調査。便潜血検査2日法と1日2個法の実績の比較検討。

各地区読影委員会で定期的な読影指導会及び読影講習会を開催する。また、従事者講習会及び症例研究会も東部で開催予定。

(7) 肝臓がん対策専門委員会：川崎委員長説明

平成14年度から国庫補助事業の基本健康診査における肝炎ウイルス検査が導入されたことに伴い、ほとんどの市町村はその事業を活用しており、県事業の肝臓がん対策事業としての肝臓がん検診の実施件数は半減してきており、平成17年度以降は県事業の肝臓がん検診を廃止することとした。従って、平成17年度は国庫事業の肝炎ウイルス検査5,090人、市町村単独事業545人の実施予定である。また、継続してウイルス陽性者のフォローアップ事業の推進。発見肝臓がんの確定調査。

従事者講習会及び症例研究会を西部で開催予定。

「肝臓がん検診及び健康指導の手引き」及び「かんぞう手帳」の改正に向けて検討する。

(8) 若年者心臓検診対策専門委員会：小竹委員長説明

専門委員会の開催、心電図検診、第一次、第二次心臓精密検査を継続実施する。

第一次心臓精密検査の実施方法、システムの見直しを検討する。

若年者心疾患対策協議会総会の参加。

(9) 母子保健対策専門委員会：神崎委員長に代わって長田会長説明

児童虐待防止、妊産婦健診での心のケア、女性の健康づくり支援事業、鳥取県乳幼児健康診査票等の見直し、周産期対策、先天異常モニタリング、新生児の聴覚検査、すくすく子育て健康支援事業等について検討していく。

周産期対策については、昨年度までは県健康対策課が主管であったが、今年度より県医務薬事課に移った。

(10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：岡本委員長説明

平成16年度で「在宅医療に関する疫学調査」が終了し、平成17年度より「職場ですすめる健康づくりに関する調査」を開始する。

「鳥取県における大動脈瘤患者の発生頻度と治療の調査」

検診発見を含む真性腹部大動脈瘤患者において、超音波検査による定期的観察から拡大速度を算出すると共に、炎症性マーカーを測定する。

「鳥取県における透析患者の実態と治療に関する疫学調査」

鳥取県では末期腎不全患者が1,000名を越え、高齢化と長期生存により透析患者は多様化している。このため、血液浄化治療のみならず、生活全般の支援が必要であり、地域連携の重要性が強調されている。本研究では改めて鳥取県における末期腎不全患者の実態を解析し、長期生存時代における生涯治療の展開を探る。

「肺がんの早期診断に関する調査」

きわめて低いProGRP値を示す大多数の検体のなかに、cut off値には至らないが、軽度上昇傾向を示す一群に注意し、癌登録事業結果によりフォローをおこなうことで、このProGRP上昇が肺癌早期診断に貢献するかどうか検証する。また、肺がん検診においても本研究参加者を募集し、肺癌特異的血清中自己抗体（抗Rb抗体、抗p53抗体）と、われわれが独自に見いだした癌細胞表面蛋白質（ULBP2）を測定する予定である。測定系はいずれも我々がすでに確立したELISA法を用いる。

「C型慢性肝炎の線維化ステージに関する調査」

FibroIndexを用いて各種治療法による有効性を縦断的、長期的に評価する。また、FibroIndexは一般肝機能より算出するためどの程度の施設間

較差が存在するかも検討する。

「職場ですすめる健康づくりに関する調査」

県内のいくつかの事業所を対象に、心とからだの健康づくり活動を展開して、その成果と課題について検討し、今後の活動推進のために資する研究を実施する。

(11) 公衆衛生活動対策専門委員会：武田委員長説明

健康セミナーの開催、日本海新聞に「保健の窓」
「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」掲載
続行予定。健康相談も継続実施。

健康会館において月1回の鳥取県医師会公開健康講座を実施、うち8回を生活習慣病対策セミナーにあてる。また、地区においても東部6回、中部4回、西部6回の計16回、生活習慣病対策セミナーを実施予定。

「新規抗菌素材による呼吸器ウイルス感染予防法の検討」を継続実施。また、特別事業として、「C型肝炎ウイルス母子感染調査研究事業」を継続実施。

(12) 脳卒中登録対策専門委員会：能勢委員長説明

平成16年届出の患者情報の集計を行う。また、1985年以降の登録数、届出状況、疫学調査研究などの成果等をまとめる。

鳥取県脳卒中登録情報システム事業は平成16年12月31日で中止したが、今後の鳥取県の脳卒中の実態やその解析および脳卒中对策の評価などについて検討する。

(13) 循環器疾患等対策専門委員会：富長委員長説明

委員会の開催2回。昨年度協議の中心であった基本健康診査対象者の把握方法について、基本とされているアンケート調査が出来ない市町村において対象者の把握方法を統一できないか検討を加えていく。

また、脳卒中の発症予防に関して、本委員会で

検討すべきことを協議する。その他、一昨年検討した前立腺がん検診の導入に関して、大規模試験の結果等新たな情報が得られれば再度検討を行う。

従事者講習会を中部で開催予定。

(14) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：金井委員長説明

鳥取県のホームページに救急告示病院情報、空床情報を掲載できるようにする。

県内の空床情報が一目で把握できるようなシステムを構築し、災害時における医療情報を保持できるシステムを考えていきたい。

また、外部の医療関係者等10人で構成する「地域医療連携ネットワーク検討会」を設置し、平成16年度に検討した医療情報化プランに基づいた今後の情報化の推進について検討を行う。

一般県民が救命措置を行えるように、主な県立施設にAEDを設置する。AEDを用いた積極的な救命活動が行われるよう県民への周知、AED使用法も同時に理解できる救命講習会等を開催する。

(15) アレルギー性疾患対策専門委員会：三原委員長説明

平成16年度は、「食物アレルギー」についてのパンフレットを作成する。対象は思春期までの患者とする。関係者研修会の開催。

以上の事業報告、事業計画の説明を踏まえて、以下のとおり要望、質問等があった。

乳がん検診のエックス線写真の読影は健対協内に設置した「鳥取県乳がんマンモグラフィ読影委員会」の委員で読影することになり、医療機関検診分については、市町村と健対協が読影料の委託契約を締結することとなっている。しかしながら、一部の町村では予算化をしていないところがあり、平成18年度からは全市町村が同じ形式をとるように県健康対策課で指導して頂きたい。

非アルコール性肝障害（NASH）から肝臓癌が発症する症例が増えてくると思われるので、肝臓がん対策専門委員会で取り上げて頂きたい。生活習慣病の絡みから、非アルコール性肝障害も問題となると思うので、勉強会等で話題として取り上げていきたいと川崎理事からの回答であった。

県費事業の第一次心臓精密検診は2年後ぐらいには終了する予定であるとのことだが、移行措置終了後も今と同じ心電図と学校健康診断の結果から学校医が判断して、精密検査を受診するようにするのか。また、現在対象者が約1,000人で、エコー検査も実施するとなると、受け皿となる医療機関の件数は足りうるのかという質問があった。

循環器、小児科を標榜されている病院、医療機関が精密検査医療機関となって頂ければ、医療機関の数は足りると思う。ほとんどが、不整脈、期外収縮の症例なので、一般医療機関でも充分対応は可能と思う。

ただし、学校現場の混乱が予想されるので、理解を得て頂くよう周知に努めたい。

また、対象者の中には、心電図は異常がないが過去に病気があった、また、心臓病で既に病院に雇っている者も対象者となっているので、心電図判読委員会、学校医の段階で対象者をもっと絞ることも今後検討していく必要があるのではという意見もあった。

9. 平成17年度鳥取県健康対策協議会予算（案）について、岩垣主任より説明があり、承認された。（別記14、15）

県支出金は、積算単価の変更に伴い、117千円減額され、22,655千円。今年度より全市町村で「マンモグラフィ併用検診」が実施されることを受けて、保健事業団支出金は3,350千円の増で23,916千円、市町村委託金は4,575千円の増で10,455千円、その他の委託金も74千円増の1,538千円を計上、県医師会補助金は前年度並で、繰越金は決算による繰越額1,279千円を計上した。よっ

て、予算総額は前年度より7,429千円増の61,145千円である。

また、平成16年度に引き続き、「特別事業積立金」の中で「C型肝炎ウイルス母子感染調査研究事業」に係る所要経費として約30万円を支出する予定である。（別記16）

10. 平成17年度鳥取県健康対策協議会表彰について（別記17）

多年に亘り、健対協事業に貢献された田中吉紀先生、小竹 寛先生を平成17年度鳥取県健康対策協議会会長被表彰者と決定した。

11. その他

今年の4月から「個人情報保護法」が施行されたことに伴い、健対協においても「個人情報保護規程」を作成して頂き、役員、専門委員、読影委員、職員等と誓約書を取り交わすのが本来の方法だと思われる。しかしながら、非常に煩雑なので、今、考えているのは、委託元の市町村から、「検診データの解析、検討をお願いします」という文言の入った、いわゆる「個人情報保護」を考慮した文書を作成し、健対協会長と書面を取り交わす。それに基づき、役員等関係者が誓約書を健対協に提出するという方法を検討しているが、これで進めて良いかどうか、宮崎理事より、各役員の見解を求めた。

岸本理事は、検診業務を進める上では、この方法で良いと思われるが、但し、健対協はそれ以外の個人情報を扱うこともあるので、健対協としての基本方針を決めておく必要はあると思うと述べられた。

行政とも相談しながら、引き続き検討することとなった。

理事会に引き続き、鳥取シティホテルにて表彰式と懇親会を行った。

(参 考)

老人保健事業健康診査

平成15年度実績、平成16年度実績見込み、平成17年度計画について

(単 位 : 人 %)

区 分		平成15年度実績	平成16年度実績見込み	平成17年度計画	
基本健康診査	対 象 者 数 (人)	168,677	167,831		
	受 診 者 数 (人)	67,133	66,649	66,460	
	受 診 率 (%)	39.8	39.7		
	要 指 導 + 要 医 療 (人)	58,698			
	〃 率 (%)	87.4			
	H 1 5 年 度 全 国 受 診 率	44.8			
胃 が ん 検 査 診	対 象 者 数 (人)	171,941	170,411		
	受 診 者	X 線 検 査 (人 ・ 率)	31,587 (18.4)	32,608 (19.1)	
		内 視 鏡 検 査 (人 ・ 率)	16,459 (9.6)	9,496 (5.6)	
		合 計 (人 ・ 率)	48,046 (27.9)	42,104 (24.7)	53,265
	X 線 検 査	要 精 検 者 数 (人)	3,434		
		要 精 検 率 (%)	10.9		
		精 密 検 査 受 診 者 数 (人)	2,702		
		精 検 受 診 率 (%)	78.7		
	が ん 又 は が ん の 疑 い の あ る 者	188			
	が ん 発 見 率 (%)	0.39			
	追 跡 調 査 結 果 (確 定 癌 数 ・ 率)	156 (0.33)			
	H 1 5 年 度 全 国 受 診 率	13.3			
	子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	125,191	126,566	
受 診 者 数 (人)		27,483	24,720	33,047	
受 診 率 (%)		22.0	19.5		
要 精 検 者 数 (人)		92			
要 精 検 率 (%)		0.33			
精 検 受 診 者 数 (人)		76			
精 検 受 診 率 (%)		82.6			
が ん 又 は が ん の 疑 い の あ る 者		42			
が ん 発 見 率 (%)		0.15			
追 跡 調 査 結 果 (確 定 癌 数 ・ 率)		8 (0.03)			
H 1 5 年 度 全 国 受 診 率		15.3			

区 分		平成15年度実績	平成16年度実績見込み	平成17年度計画
肺 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	178,762	178,762	
	受 診 者 数 (人)	63,649	59,707	69,605
	受 診 率 (%)	35.6	33.4	
	要 精 検 者 数 (人)	640		
	要 精 検 率 (%)	1.01		
	精 検 受 診 者 数 (人)	489		
	精 検 受 診 率 (%)	76.4		
	がん又はがんの疑いのある者	78		
	が ん 発 見 率 (%)	0.12		
	追跡調査結果(確定癌数・率)	69 (0.11)		
H15年度全国受診率	23.7			
乳 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	127,945	129,728	
	受 診 者 数 (人)	31,539	27,969	19,200
	受 診 率 (%)	24.7	21.6	
	要 精 検 者 数 (人)	1,115		
	要 精 検 率 (%)	3.54		
	精 検 受 診 者 数 (人)	985		
	精 検 受 診 率 (%)	88.3		
	がん又はがんの疑いのある者	49		
	が ん 発 見 率 (%)	0.15		
	追跡調査結果(確定癌数・率)	48 (0.15)		
H15年度全国受診率	12.9			
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	179,274	178,660	
	受 診 者 数 (人)	56,218	51,891	55,645
	受 診 率 (%)	31.4	29.0	
	要 精 検 者 数 (人)	5,194		
	要 精 検 率 (%)	9.2		
	精 検 受 診 者 数 (人)	3,449		
	精 検 受 診 率 (%)	66.4		
	がん又はがんの疑いのある者	157		
	が ん 発 見 率 (%)	0.28		
	追跡調査結果(確定癌数・率)	147 (0.26)		
H15年度全国受診率	18.1			

平成17年度鳥取県健康対策協議会役員名簿

(任期 平成16年4月1日～平成18年3月31日)

(敬称略)

会長	長田 昭夫(県医師会会長)	理事	栗原 達郎(県医師会理事)
副会長	井藤 久雄(鳥大医学部長)	"	石田 浩司(")
"	石田耕太郎(県福祉保健部長)	"	吉田 真人(")
理事	能勢 隆之(鳥取大学学長)	"	明穂 政裕(")
"	三原 基之(鳥取県病院局病院事業管理者)	"	阿部 博章(")
"	川口 正男(県福祉保健部次長)	"	石部 裕一(鳥大医学部附属病院長・鳥取大学理事)
"	金井 要(県福祉保健部次長)	"	田中 吉紀(鳥大医学部教授)
"	西山 秀雄(県福祉保健課長)	"	寺川 直樹(")
"	三好 圭(県長寿社会課長)	"	岸本 拓治(")
"	小林 敬典(県医務薬事課長)	"	重政 千秋(")
"	長井 大(県健康対策課長)	"	清水 英治(")
"	谷口 尚子(県県民生活課長)	"	神崎 晋(")
"	武田 倬(県立中央病院長)	"	宮川 征男(")
"	吉田 良平(県保健所長会々長)	"	大石 徹(産科婦人科大石医院院長)
"	川崎 寛中(山陰労災病院長)	"	工藤 浩史(鳥取赤十字病院部長)
"	杉本 雅美(県衛生環境研究所長)	"	小竹 寛(小竹内科循環器クリニック院長)
"	岡本 公男(県医師会副会長)	"	中村 廣繁(鳥大医附属病院科長)
"	野島 丈夫(")	"	米本 哲人(東部医師会会長)
"	富長 将人(県医師会常任理事)	"	伊藤 文利(中部医師会会長)
"	渡辺 憲(")	"	魚谷 純(西部医師会会長)
"	天野 道磨(")	監事	岸田 剛一(県医師会監事)
"	神鳥 高世(")	"	吉中 正人(")
"	宮崎 博実(")		

新役員(平成17年4月1日就任)

鳥取県健康対策協議会 規約一部改正 (案) 新旧対照表

改 正 案	現 行
<p>第 2 章 役員及び専門委員 (役 員)</p> <p>第 6 条 本会に次の役員をおく。</p> <p style="padding-left: 40px;">会 長 1 名</p> <p style="padding-left: 40px;">副会長 2 名</p> <p style="padding-left: 40px;">理 事 <u>45名以内</u></p> <p style="padding-left: 40px;">監 事 2 名</p> <p>2 . 会長は、理事とし鳥取県医師会長をあて る。</p> <p>3 . 副会長は理事とし、鳥取県福祉保健部長 及び鳥取大学医学部長をあてる。</p> <p>4 . 監事は、理事会の同意を得て会長が委嘱 する。</p> <p>5 . 会長は、本会を代表して会務を総理する。</p> <p>6 . 副会長は、会長を補佐し会長に事故があ るときは会長が予め定めた順位によりその 職務を執行する。</p> <p>7 . 理事は、第11条第 1 項の理事会 (以下 「理事会」という) を構成し、会務の執行 を決定する。</p> <p>8 . 監事は、本会の会計及び財産の状況を監 査し、理事会に報告する。</p> <p>(理事の選任)</p> <p>第 7 条 理事は構成機関の推薦にもとづき理事会 で選任する。</p> <p>附 則</p> <p><u>7 . この規約は平成17年 4 月 1 日から施行する。</u></p>	<p>第 2 章 役員及び専門委員 (役 員)</p> <p>第 6 条 本会に次の役員をおく。</p> <p style="padding-left: 40px;">会 長 1 名</p> <p style="padding-left: 40px;">副会長 2 名</p> <p style="padding-left: 40px;">理 事 <u>42名以内</u></p> <p style="padding-left: 40px;">監 事 2 名</p> <p>2 . 会長は、理事とし鳥取県医師会長をあて る。</p> <p>3 . 副会長は理事とし、鳥取県福祉保健部長 及び鳥取大学医学部長をあてる。</p> <p>4 . 監事は、理事会の同意を得て会長が委嘱 する。</p> <p>5 . 会長は、本会を代表して会務を総理する。</p> <p>6 . 副会長は、会長を補佐し会長に事故があ るときは会長が予め定めた順位によりその 職務を執行する。</p> <p>7 . 理事は、第11条第 1 項の理事会 (以下 「理事会」という) を構成し、会務の執行 を決定する。</p> <p>8 . 監事は、本会の会計及び財産の状況を監 査し、理事会に報告する。</p> <p>(理事の選任)</p> <p>第 7 条 理事は構成機関の推薦にもとづき理事会 で選任する。</p> <p>附 則</p> <p>6 . この規約は平成12年 4 月 1 日から施行する。</p>

平成16年度鳥取県健康対策協議会事業報告

()の数字は平成16年度決算額

(単位:円)

1. がん登録対策専門委員会【委員長:岸本拓治(鳥大医社会医学講座環境予防医学教授)】

事業内容	摘要
1. がん登録及び集団検診の効果分析 2. 出張採録と患者照合処理の効率化 (1,781,049)	1. 厚生労働省がん研究班参加 2. 地域がん登録全国協議会総会研究会参加 3. 第3次対がん総合戦略事業への参画

2. 胃がん対策専門委員会【委員長:岡本公男(県医師会副会長)】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の導入 (9,463,388)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会(西部)

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長:大石 徹(産科婦人科大石医院長)】

事業内容	摘要
1. 集団(車検診)検診実施状況の評価、検討、並びに円滑な運営。検診対象者(頸部、体部)の見直しについての検討 2. 検診における精度管理の向上と要精検者の綿密なフォロー 3. 精密検査登録医の研修会出席及び検診事業に対する協力の推奨 4. 精検結果の分析と追跡調査 (517,335)	1. 従事者講習会及び症例検討会(西部) 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

4. 肺がん対策専門委員会【委員長:中村廣繁(鳥大医附属病院胸部外科科長)】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 集団検診精密検査実施体制についての検討 3. 精密検査による肺がん確定診断の調査 4. 肺がん検診精密検査医療機関登録 5. 肺がん医療機関検診実施 (12,527,658)	1. 従事者講習会及び症例研究会(西部) 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：工藤浩史（鳥取赤十字病院第2外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見乳がん患者の確定調査 4. 乳がん医療機関検診一次検診医登録 5. マンモグラフィ併用検診体制整備 (776,955)	1. 従事者講習会及び症例検討会（東部、中部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がんマンモグラフィ読影委員会設置（H16 .10 .1設置）

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：宮崎博実（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 4. 大腸がん検診注腸X線検査医療機関登録 (497,048)	1. 従事者講習会及び症例研究会（西部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（山陰労災病院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (553,000)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 「鳥取県の肝臓がん対策」冊子作成

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：小竹 寛（小竹内科循環器クリニック院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策（一次精密検診の検討） 2. 心電図判読 (8,791,650)	1. 一次精密検診公費負担 2. 各地区判読委員会設置

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥大医統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

事業内容	摘要
1. 児童虐待防止についての母子保健面からの対応 2. 「5歳児健康診査」、「新生児聴覚検査」事業についての検討 3. 母子保健に関する健診システムの検討、評価方法の検討及び肥満児対策の取り組み 4. ハイリスク出生児に対応したシステムの構築及びハイリスク出生児の追跡調査 5. 先天異常モニタリングの精度管理と事業の継続 (1,270,000)	1. 「鳥取県乳幼児健康診査マニュアル」改訂版作成

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：岡本公男（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 在宅医療に関する疫学調査研究等（5項目） (2,050,000)	1. 「疾病構造の地域特性調査委員会、母子保健対策専門委員会報告（第19集）」発行

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：武田 倬（鳥取県立中央病院院長）】

事業内容	摘要
1. 地域保健対策 2. 健康教育対策 3. 生活習慣病対策 (2,631,913)	1. 健康セミナー（中部） 2. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座） 3. 呼吸器ウイルス感染予防調査

12. 脳卒中登録対策専門委員会【委員長：能勢隆之（鳥大医社会医学講座健康政策医学教授）】

事業内容	摘要
1. 脳卒中登録及び脳卒中対策の効果分析 2. 訪問指導システム 3. 退院情報収集システム (888,325)	1. 「鳥取県脳卒中情報システム事業」は平成16年12月31日で中止

13. 循環器疾患等対策専門委員会【委員長：富長将人（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 基本健康診査実施状況の評価、検討 2. 個別健康教育実施状況の評価、検討 (346,767)	1. 従事者講習会（東部）

14. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：金井 要（県福祉保健部次長兼健康対策課長）】

事業内容	摘要
1. 健康に関連した情報の集積の在り方及びその活用方策に関する情報交換 (28,140)	

15. アレルギー性疾患対策専門委員会【委員長：三原基之（鳥取県病院局病院事業管理者）】

事業内容	摘要
1. 「花粉症」パンフレット作成にむけての意見交換 2. 関係者へのアレルギーの知識についての研修会の開催 (298,674)	1. 「花粉症～上手に付きあいましょう～」パンフレット作成 2. 研修会（東部）

平成16年度鳥取県健康対策協議会決算書

収入の部

(単位：円)

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増 減	摘 要
1. 県 支 出 金	22,772,000	0	22,772,000	22,771,147	853	
1) 委 託 金	17,345,000	0	17,345,000	17,344,600	400	
(1) がん登録事業費委託金	1,675,000	0	1,675,000	1,675,000	0	委託金1,595,238円 + 消費税79,762円
(2) 若年者心臓検診事業費委託金	3,604,000	0	3,604,000	3,604,000	0	委託金3,432,381円 + 消費税171,619円
(3) 疾病構造対策事業費委託金	2,890,000	0	2,890,000	2,890,000	0	委託金2,752,381円 + 消費税137,619円
(4) 公衆衛生生活動事業費委託金	824,000	0	824,000	824,000	0	委託金784,762円 + 消費税39,238円
(5) 脳卒中登録評価分析事業費委託金	839,000	0	839,000	838,600	400	委託金798,667円 + 消費税39,933円
(6) 健康診査管理支援事業費委託金	1,841,000	0	1,841,000	1,841,000	0	委託金1,753,333円 + 消費税87,667円
(7) 生活習慣病対策セミナー事業費委託金	1,025,000	0	1,025,000	1,025,000	0	委託金976,191円 + 消費税48,809円
(8) がん検診精度確保事業費委託金	2,772,000	0	2,772,000	2,772,000	0	委託金2,640,000円 + 消費税132,000円
(9) 肝臓がん征圧特別対策事業費委託金	553,000	0	553,000	553,000	0	委託金526,667円 + 消費税26,333円
(10) 肺がん医療機関検診読影委員会開催事業費委託金	595,000	0	595,000	595,000	0	委託金566,667円 + 消費税28,333円
(11) 母子保健推進体制整備事業費委託金	430,000	0	430,000	430,000	0	委託金409,524円 + 消費税20,476円
(12) アレルギー性疾患対策事業費委託金	297,000	0	297,000	297,000	0	委託金282,858円 + 消費税14,142円
2) 県 負 担 金	5,427,000	0	5,427,000	5,426,547	453	
(1) 事務局強化対策負担金	5,427,000	0	5,427,000	5,426,547	453	
2. 保健事業団支出金	20,566,000	327,282	20,238,718	20,238,718	0	
1) 委 託 金	20,166,000	327,282	19,838,718	19,838,718	0	
(1) 胃集検読影事業費委託金	8,836,000	409,468	8,426,532	8,426,532	0	{ @330 × 24,319件 = 8,025,270円 消費税401,262円
(2) 子宮がん検診事業費委託金	226,000	119,215	106,785	106,785	0	{ 細胞診1次@400 × 0件 最終判定@900 × 113件 消費税5,085円
(3) 肺がん検診事業費委託金	4,846,000	1,408,271	6,254,271	6,254,271	0	{ フィルム読影料 @70 × 83,525件 細胞診1次@400 × 236件 最終判定@900 × 17件 消費税297,821円
(4) 乳がん検診事業費委託金	1,260,000	1,130,850	129,150	129,150	0	{ マンモグラフィ読影料 @600 × 205件 消費税6,150円
(5) 若年者心臓検診事業費委託金	4,998,000	76,020	4,921,980	4,921,980	0	{ @200 × 23,438件 = 4,687,600円 消費税234,380円
2) 補 助 金	400,000	0	400,000	400,000	0	
(1) 各専門委員会連絡調整補助金	400,000	0	400,000	400,000	0	

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増 減	摘 要
3 . 市町村委託金	5,880,000	120,120	5,759,880	5,759,880	0	@420×13,714件 (内税)
1) 委 託 金	5,880,000	120,120	5,759,880	5,759,880	0	
(1) 肺がん医療機関検診 事業費委託金	5,880,000	120,120	5,759,880	5,759,880	0	
4 . その他委託金	1,464,000	86,964	1,377,036	1,377,036	0	
1) 委 託 金	1,464,000	86,964	1,377,036	1,377,036	0	
(1) 若年者心臓検診 事業費委託金	504,000	23,520	480,480	480,480	0	山陰予防医学研究所 @210×2,288件(内税)
(2) 胃集検読影 事業費委託金	842,000	65,144	776,856	776,856	0	中国労働衛生協会 @330×2,242件 +消費税36,996円
(3) 肺がん検診 事業費委託金	118,000	1,700	119,700	119,700	0	中国労働衛生協会 フィルム読影料@120×950件 消費税5,700円
5 . 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
1) 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 運営費補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
6 . 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	1,000	
1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	1,000	
(1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	1,000	
7 . 諸 収 入	1,000	0	1,000	188	812	
1) 預 金 利 子	1,000	0	1,000	188	812	
(1) 預 金 利 子	1,000	0	1,000	188	812	
8 . 繰 越 金	1,732,000	0	1,732,000	1,732,737	737	
1) 前年度繰越金	1,732,000	0	1,732,000	1,732,737	737	
(1) 前年度繰越金	1,732,000	0	1,732,000	1,732,737	737	
収 入 合 計	53,716,000	534,366	53,181,634	53,179,706	1,928	

支出の部

(単位：円)

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
1. 総 務 費	6,715,000	0	0	6,715,000	6,658,403	56,597	
1) 会 議 費	850,000	0	0	850,000	793,856	56,144	
(1) 理 事 会 費	850,000	0	0	850,000	793,856	56,144	
2) 各 専 門 委 員 会 費	1,117,000	0	0	1,117,000	1,117,000	0	
(1) 各 専 門 委 員 会 費	1,117,000	0	0	1,117,000	1,117,000	0	
3) 給 料	4,127,000	0	0	4,127,000	4,126,547	453	
(1) 給 料	4,127,000	0	0	4,127,000	4,126,547	453	
4) 公 租 公 課 費	621,000	0	0	621,000	621,000	0	
(1) 公 租 公 課 費	621,000	0	0	621,000	621,000	0	公租公課費 621,000円 健康対策費のうち以下の項目で公租公課費を支出 胃がん対策費 95,442円 子宮がん対策費 2,136円 肺がん対策費 301,973円 心電図判読料 108,049円 小計 507,600円 合計 1,128,600円
2. 健康対策費	47,001,000	534,366	0	46,466,634	45,242,269	1,224,365	
1) がん登録対策費	1,963,000	0	0	1,963,000	1,781,049	181,951	
(1) がん登録費	1,963,000	0	0	1,963,000	1,781,049	181,951	
2) 胃がん対策費	9,938,000	474,612	0	9,463,388	9,463,388	0	読影件数が予算件数を下回ったため補正
(1) 胃がん対策費	9,938,000	474,612	0	9,463,388	9,463,388	0	公租公課費95,442円支出
3) 子宮がん対策費	662,000	119,215	0	542,785	517,335	25,450	読影件数が予算件数を下回ったため補正
(1) 子宮がん対策費	662,000	119,215	0	542,785	517,335	25,450	公租公課費2,136円支出
4) 肺がん対策費	11,575,000	1,289,851	0	12,864,851	12,527,658	337,193	読影件数が予算件数を上回ったため補正
(1) 肺がん対策費	10,980,000	1,289,851	0	12,269,851	11,932,658	337,193	公租公課費301,973円支出
(2) 肺がん医療機関 対 換 診 読 影 委 員 会 策 費	595,000	0	0	595,000	595,000	0	
5) 乳がん対策費	1,830,000	1,053,045	0	776,955	776,955	0	読影件数が予算件数を下回ったため補正
(1) 乳がん対策費	1,830,000	1,053,045	0	776,955	776,955	0	
6) 大腸がん対策費	532,000	0	0	532,000	497,048	34,952	
(1) 大腸がん対策費	532,000	0	0	532,000	497,048	34,952	
7) 肝臓がん対策費	553,000	0	0	553,000	553,000	0	
(1) 肝臓がん対策費	553,000	0	0	553,000	553,000	0	
8) がん検診精度 確 保 対 策 費	2,822,000	0	0	2,822,000	2,820,367	1,633	
(1) がん検診精度 確 保 対 策 費	2,822,000	0	0	2,822,000	2,820,367	1,633	

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
9) 若年者心臓検診費 対策	9,106,000	99,540	0	9,006,460	8,791,650	214,810	判読件数が予算件数を 下回ったため補正
(1) 心臓検診費	3,604,000	0	0	3,604,000	3,604,000	0	
(2) 心電図判読料	5,502,000	99,540	0	5,402,460	5,187,650	214,810	公租公課費108,049 円支出
10) 母子保健対策費	1,270,000	0	0	1,270,000	1,270,000	0	
(1) 母子保健対策費	840,000	0	0	840,000	840,000	0	
(2) 母子保健対策協 議会対策費	430,000	0	0	430,000	430,000	0	
11) 県民健康対策費	2,050,000	0	0	2,050,000	2,050,000	0	
(1) 疾病構造調査 費	2,050,000	0	0	2,050,000	2,050,000	0	
12) 公衆衛生活動 費	2,978,000	77,805	0	2,900,195	2,631,913	268,282	
(1) 地域保健対策費	660,000	0	0	660,000	657,652	2,348	
(2) 健康教育対策費	1,063,000	77,805	0	985,195	747,131	238,064	
(3) 公開健康講座 費	230,000	0	0	230,000	202,130	27,870	
(4) 生活習慣病対策 費	1,025,000	0	0	1,025,000	1,025,000	0	
13) 脳卒中登録対策費	889,000	0	0	889,000	888,325	675	
(1) 脳卒中登録費	889,000	0	0	889,000	888,325	675	
14) 循環器疾患等 対策費	396,000	0	0	396,000	346,767	49,233	
(1) 循環器疾患等 対策費	396,000	0	0	396,000	346,767	49,233	
15) 地域医療研修及び 健康情報対策費	100,000	0	0	100,000	28,140	71,860	
(1) 地域医療研修及び 健康情報対策費	100,000	0	0	100,000	28,140	71,860	
16) アレルギー性疾患 対策費	337,000	0	0	337,000	298,674	38,326	
(1) アレルギー性疾患 対策費	337,000	0	0	337,000	298,674	38,326	
支 出 合 計	53,716,000	534,366	0	53,181,634	51,900,672	1,280,962	

収支差引額 53,179,706円 - 51,900,672円 = 1,279,034円 (平成17年度へ繰越)

平成16年度鳥取県健康対策協議会予算決算対照表

(単位:円)

事業名	支出予算額 支出決算額	内 訳					
		県支出金	事業団支出金	市町村委託金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1.がん登録対策	1,963,000	1,675,000				180,000	108,000
	1,781,049	1,675,000				106,049	0
2.胃がん対策	9,463,388	136,000	8,426,532		776,856	40,000	84,000
	9,463,388	136,000	8,426,532		776,856	40,000	84,000
3.子宮がん対策	542,785	346,000	106,785			20,000	70,000
	517,335	346,000	106,785			20,000	44,550
4.肺がん対策	12,864,851	731,000	6,254,271	5,759,880	119,700		
	12,527,658	731,000	5,917,078	5,759,880	119,700		
5.乳がん対策	776,955	296,000	129,150			136,000	215,805
	776,955	296,000	129,150			136,000	215,805
6.大腸がん対策	532,000	331,000				70,000	131,000
	497,048	331,000				70,000	96,048
7.肝臓がん対策	553,000	553,000					
	553,000	553,000					
8.がん検診精度確保対策	2,822,000	2,772,000					50,000
	2,820,367	2,772,000					48,367
9.若年者心臓検診対策	9,006,460	3,604,000	4,921,980		480,480		
	8,791,650	3,604,000	4,807,170		380,480		
10.母子保健対策	1,270,000	1,270,000					
	1,270,000	1,270,000					
11.県民健康対策	2,050,000	2,050,000					
	2,050,000	2,050,000					
12.公衆衛生活動対策	2,900,195	1,849,000	400,000			510,000	141,195
	2,631,913	1,849,000	400,000			382,913	0
13.脳卒中登録対策	889,000	839,000					50,000
	888,325	838,600					49,725
14.循環器疾患等対策	396,000	320,000				56,000	20,000
	346,767	320,000				26,767	0
15.地域医療研修及び健康情報対策	100,000					100,000	
	28,140					28,140	
16.アレルギー性疾患対策	337,000	297,000					40,000
	298,674	297,000					1,674
17.総務費	6,715,000	5,703,000				188,000	824,000
	6,658,403	5,702,547				188,000	767,856
合計	53,181,634	22,772,000	20,238,718	5,759,880	1,377,036	1,300,000	1,734,000
	51,900,672	22,771,147	19,786,715	5,759,880	1,277,036	997,869	1,308,025

別記(5)

表彰基金

(平成17年3月31日現在)

1. 基金運用収支

(単位:円)

科目	年度初現在高	増	減	年度末現在高	摘要
1. 収入					
前年度繰越金	890,263				
雑入		14		890,277	普通預金利息
2. 支出					
表彰関係諸費			46,960	46,960	表彰状、記念品等(2名分)
計	890,263	14	46,960	843,317	

別記(6)

鳥取県健康対策協議会特別事業・決算

1. 定期預金

(単位:円)

科目	年度初現在高	増	減	残額	摘要
1. 定期預金積立	6,003,858				
2. 定期解約利息		11			
3. 定期預金解約			2,001,297	4,002,572	
4. 定期預金利息		1,281			
計	6,003,858	1,292	2,001,297	4,003,853	定期預金

2. 普通預金収支

科目	年度初現在高	増	減	残額	摘要
1. 収入					
繰入金	2,001,297				定期預金取崩金
雑入		22		2,001,319	普通預金利息
2. 支出					
C型肝炎ウイルス 母子感染調査関係費			288,220		C型肝炎ウイルス検査検査料 247,275円 送料310円、振込手数料5,985円 関係用紙印刷代34,650円
計	2,001,297	22	288,220	1,713,099	

別記(7)

(写)

監 査 報 告 書

鳥取県健康対策協議会規約第6条8項の規程により、平成16年度鳥取県健康対策協議会事業報告・収入支出予算の執行について関係諸帳簿並びに証憑書類を監査した結果適正であることを認める。

平成17年5月26日

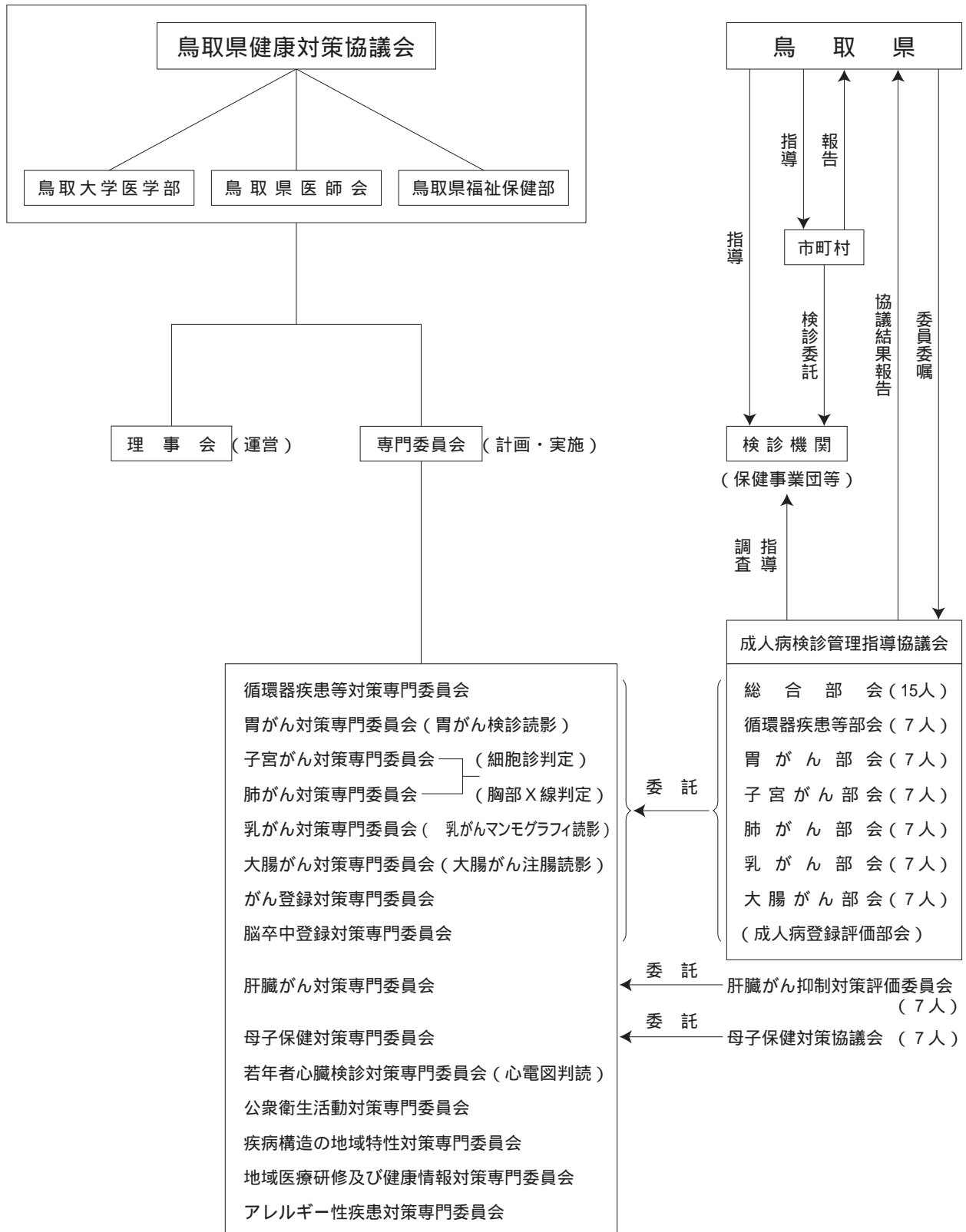
監事 岸田剛一 印
監事 吉中正人 印

鳥取県健康対策協議会

会長 長田昭夫 殿

鳥取県健康対策協議会と成人病検診精度管理組織図

(昭和46年1月26日発足)



平成17年度鳥取県健康対策協議会専門委員会委員名簿

1. がん登録対策専門委員会【委員長：岸本拓治（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡本 公男（県医師会副会長）	長井 大（県健康対策課長）	能勢 隆之（鳥取大学長）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	武田 倬（県立中央病院長）	石部 裕一（附属病院長）
栗原 達郎（県医師会理事）	藤井 昭（県立厚生病院長）	村脇 義和（統合内科医学講座機能病態内科学教授）
岩垣 陽子（県医師会事務局）	藤井 秀樹（米子保健所長）	尾崎 米厚（社会医学講座環境予防医学助教授）
古城 治彦（山陰労災病院副院長）	井本八千代（県立中央病院主任薬剤師）	岡本 幹三（社会医学講座環境予防医学講師）
山下 裕（鳥取市立病院副院長）	平木 初江（八頭町八東保健センター主任）	
田中香寿子（田中外科内科）		
福島 明（東部医師会）		
石飛 誠一（中部医師会）		
細田 庸夫（西部医師会）		

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：岡本公男（県医師会副会長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
天野 道磨（県医師会常任理事）	長井 大（県健康対策課長）	前田 迪郎（保健学科基礎看護学教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	武田 倬（県立中央病院長）	池口 正英（器官制御外科学講座病態制御外科学教授）
栗原 達郎（県医師会理事）	岡田 克夫（県立中央病院医長）	辻谷 俊一（器官制御外科学講座病態制御外科学助教授）
謝花 典子（山陰労災病院部長）	藤井 昭（県立厚生病院長）	八島 一夫（附属病院第2内科講師）
西土井英昭（鳥取赤十字病院副院長）	佐藤 徹（県立厚生病院医長）	
山口 由美（鳥取赤十字病院副部長）	石原 浩（倉吉保健所長）	
秋藤 洋一（岩美病院副院長）	藤木 尚子（鳥取市中央保健センター保健師）	
瀬川 謙一（東部医師会）		
吉中 正人（中部医師会）	三浦 邦彦（県保健事業団西部本部参与）	
細田 明秀（西部医師会）	三宅 二郎（県保健事業団診療放射線技師）	

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：大石 徹（産科婦人科大石医院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
宮崎 博実（県医師会常任理事）	長井 大（県健康対策課長）	能勢 隆之（鳥取大学長）
井庭 信幸（彦名クリニック副院長）	吉田 良平（鳥取保健所長）	寺川 直樹（器官制御外科学講座生殖機能医学教授）
清水 健治（鳥取市立病院副院長）	澤住 和秀（県立厚生病院部長）	紀川 純三（器官制御外科学講座生殖機能医学助教授）
梅澤 潤一（東部医師会）	皆川 幸久（県立中央病院部長）	分倉千鶴子（附属病院総合診療外科看護師長）
井奥 郁雄（中部医師会）	大下以津子（湯梨浜町健康推進課係長）	
作野 嘉信（西部医師会）		
	富山 真弓（県保健事業団中部支部細胞検査係長）	

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：中村廣繁（鳥取大学医学部附属病院胸部外科科長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
天野 道磨（県医師会常任理事）	長井 大（県健康対策課長）	清水 英治（統合内科医学講座分子制御内科学教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	吉田 良平（鳥取保健所長）	陶山 久司（附属病院第3内科講師）
吉田 真人（県医師会理事）	石原 浩（倉吉保健所長）	谷口 雄司（附属病院胸部外科講師）
山家 武（鳥取県社会保険診療報酬支払基金専任審査員）	藤井 秀樹（米子保健所長）	
工藤 浩史（鳥取赤十字病院部長）	杉本 勇二（県立中央病院部長）	
谷口 玲子（ひまわり内科クリニック院長）	吹野 俊介（県立厚生病院部長）	
小濱 美昭（東部医師会）	長谷川ゆかり（東部福祉保健局健康支援課長）	
引田 亨（中部医師会）	村上 弘美（境港市健康対策課保健師）	
菅村 昭夫（西部医師会）		
	中村 良文（県保健事業団本部医務局長）	
	大久保 誠（県保健事業団中部支部業務課課長補佐）	

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：工藤浩史（鳥取赤十字病院第2外科部長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡本 公男（県医師会副会長）	長井 大（県健康対策課長）	石黒 清介（附属病院第2外科講師）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	深田 民人（県立厚生病院副院長）	廣岡 保明（附属病院第1外科講師）
石田 浩司（県医師会理事）	平賀 瑞雄（日野保健所長）	
杉山 長毅（智頭病院院長）	山崎 泉（琴浦町健康福祉課保健師）	
山家 武（鳥取県社会保険診療報酬支払基金専任審査員）		
山下 裕（東部医師会）	原 宏（県保健事業団西部本部医務局長）	
野田 博司（中部医師会）	大久保ひとみ（県保健事業団放射線係長）	
村田 陽子（西部医師会）		

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：宮崎博実（県医師会常任理事）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
栗原 達郎（県医師会理事）	長井 大（県健康対策課長）	牧野 正人（附属病院第1外科講師）
吉中 正人（県医師会監事）	吉田 良平（鳥取保健所長）	八島 一夫（附属病院第2内科講師）
石飛 誠一（中部医師会立三朝温泉病院部長）	岸 清志（県立中央病院医療局長）	
田村 矩章（西伯病院副院長）	岡田 克夫（県立中央病院院長）	
古城 治彦（山陰労災病院副院長）	金藤 英二（県立厚生病院部長）	
木村 修（米子医療センター部長）	山本 寛子（県立中央病院）	
田中 久雄（鳥取赤十字病院）	田淵有香子（鳥取市用瀬町総合支所福祉保健課スタッフ）	
瀬川 謙一（東部医師会）		
音田 正樹（中部医師会）	丸山みゑ子（県保健事業団中部支部支部長）	
宝意 規嗣（西部医師会）		

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（山陰労災病院院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡本 公男（県医師会副会長）	長井 大（県健康対策課長）	村脇 義和（統合内科医学講座機能病態内科学教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	藤井 秀樹（米子保健所長）	孝田 雅彦（統合内科医学講座機能病態内科学助教授）
石飛 誠一（中部医師会立三朝温泉病院部長）	岸 清志（県立中央病院医療局長）	前田 直人（統合内科医学講座機能病態内科学講師）
岸本 幸廣（山陰労災病院部長）	景山佳余子（西部総合事務所福祉保健局健康支援課保健師）	廣岡 保明（附属病院第1外科講師）
松木 勉（鳥取市立病院部長）	石指 智子（大山町大山支所福祉課保健師）	
松田 裕之（鳥取赤十字病院部長）		
瀬川 謙一（東部医師会）	安藤 敦子（県保健事業団健診検査課臨床検査技師）	
松田 哲郎（中部医師会）		
浜副 隆一（西部医師会）		

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：小竹 寛（小竹内科循環器クリニック院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
天野 道磨（県医師会常任理事）	長井 大（県健康対策課長）	久留 一郎（大学院・遺伝子再生医療学講座再生医療学専門教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	山崎 嘉彦（県体育保健課長）	石黒 眞吾（器官制御外科学講座器官再生外科学助教授）
吉田 真人（県医師会理事）	平賀 瑞雄（日野保健所長）	辻 靖博（附属病院小児科講師）
坂本 雅彦（垣田病院院長）	吉田 泰之（県立中央病院部長）	
西尾 昌憲（東部医師会）	星加 忠孝（県立中央病院部長）	
松田 隆（中部医師会）	奈良井 栄（県立厚生病院部長）	
白石 眞博（西部医師会）	片山 章（県立厚生病院医長）	
奥田 浩史（おくだこどもクリニック院長）		
田村 明子（鳥取市立病院医長）	平田 儀和（県保健事業団健診検査課課長補佐）	

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥大医学部統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
長田 昭夫（県医師会会長）	長井 大（県健康対策課長）	大野 耕策（附属脳幹性疾患研究施設脳神経小児科教授）
神鳥 高世（県医師会常任理事）	澤住 和秀（県立厚生病院部長）	前田 隆子（保健学科母性・小児家族看護学講座教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	石原 浩（倉吉保健所長）	小枝 達也（鳥大地域学部教授）
阿部 博章（県医師会理事）	福本奈々美（鳥取市気高町総合支所福祉保健課スタッフ）	
大谷 恭一（智頭病院小児科科長）	米塚美智代（湯梨浜町健康推進課保健師）	
田中 清（たなか小児科医院院長）	大原 順子（東部福祉保健局健康支援課保健師）	
深澤 哲（東部医師会）		
岡本 博文（中部医師会）	長谷川利恵（県保健事業団中部支所業務課臨床検査技師）	
伊藤 隆志（西部医師会）		

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：岡本公男（県医師会副会長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
長田 昭夫（県医師会会長）	金井 要（県福祉保健部次長）	能勢 隆之（鳥取大学長）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	小林 敬典（県医務薬事課長）	石部 裕一（附属病院院長）

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：武田 倬（鳥取県立中央病院院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡本 公男（県医師会副会長）	川口 正男（県福祉保健部次長）	能勢 隆之（鳥取大学長）
渡辺 憲（県医師会常任理事）	金井 要（県福祉保健部次長）	田中 吉紀（基盤病態医学講座感染制御学教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	小林 敬典（県医務薬事課長）	清水 英治（統合内科医学講座分子制御内科学教授）
栗原 達郎（県医師会理事）	山崎 嘉彦（県体育保健課長）	黒沢 洋一（社会医学講座健康政策医学助教授）
乾 俊彦（東部医師会）	吉田 良平（鳥取保健所長）	長田 郁夫（統合内科医学講座周産期小児医学講師）
深田 民人（中部医師会）	杉本 雅美（県衛生環境研究所長）	
小林 哲（西部医師会）	中安 弘幸（県立中央病院部長）	
	丸瀬 和美（県保健事業団事務局長）	

12. 脳卒中登録対策専門委員会【委員長：能勢隆之（鳥取大学長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
野島 丈夫（県医師会副会長）	西山 秀雄（県福祉保健課長）	岸本 拓治（社会医学講座環境予防医学教授）
神鳥 高世（県医師会常任理事）	長井 大（県健康対策課長）	浦上 克哉（保健学科生体制御学講座教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	石原 浩（倉吉保健所長）	尾崎 米厚（社会医学講座環境予防医学助教授）
明穂 政裕（県医師会理事）	中安 弘幸（県立中央病院部長）	
金澤 泰久（鳥取赤十字病院部長）	北窓 妙子（中部総合事務所福祉保健局健康支援課長）	
谷口 玲子（東部医師会）		
穴戸 尚（中部医師会）		
安達 敏明（西部医師会）		
小林 達子（いなば幸朋苑部長）		

13. 循環器疾患等対策専門委員会【委員長：富長将人（県医師会常任理事）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
天野 道麿（県医師会常任理事）	長井 大（県健康対策課長）	重政 千秋（統合内科医学講座病態情報内科学教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	大城 陽子（西部総合事務所福祉保健局健康支援課長）	浦上 克哉（保健学科生体制御学講座教授）
栗原 達郎（県医師会理事）	阿部由紀子（日野総合事務所福祉保健局保健衛生課指導係長）	久留 一郎（大学院・湯佐子再生医療学講座再生医療学部門教授）
吉田 真人（県医師会理事）	宮永みどり（米子市健康対策課主幹）	
松浦 喜房（東部医師会）		
竹田 晴彦（中部医師会）	米谷 典恵（県保健事業団普及係長）	
小竹 寛（西部医師会）		

14. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：金井 要（県福祉保健部次長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
野島 丈夫（県医師会副会長）	三好 圭（県長寿社会課長）	井藤 久雄（医学部長）
渡辺 憲（県医師会常任理事）	小林 敬典（県医務薬事課長）	石部 裕一（附属病院長）
宮崎 博実（県医師会常任理事）		宮川 征男（器官制御外科学講座腎泌尿器学教授）
米本 哲人（東部医師会会長）		
伊藤 文利（中部医師会会長）		
魚谷 純（西部医師会会長）		

15. アレルギー性疾患対策専門委員会【委員長：三原基之（鳥取県病院局病院事業管理者）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡本 公男（県医師会副会長）	長井 大（県健康対策課長）	花木 啓一（保健学科母性・小児家族看護学講座教授）
神鳥 高世（県医師会常任理事）	平賀 瑞雄（日野保健所長）	鮎岡 直人（統合内科医学講座分子制御内科学助教授）
宮崎 博実（県医師会常任理事）	橋本 好充（県立厚生病院医長）	山田 七子（感覚運動医学講座皮膚病医学講師）
阿部 博章（県医師会理事）	常井 幹生（鳥取県立中央病院医長）	
平尾 正人（鳥取赤十字病院部長）	西尾美由紀（県体育保健課指導主事）	
藤田 和寿（鳥取赤十字病院部長）	中村知沙子（米子市健康対策課保健師）	
川口 俊夫（かわぐち皮膚科院長）		
深澤 哲（東部医師会）		
松田 隆（中部医師会）		
中尾 圭介（西部医師会）		

新任の委員

別 記（10）（参 考）

鳥取県成人病検診管理指導協議会総合部会委員名簿

部 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
健 対 協 会 長	長田 昭夫	長田産科婦人科クリニック	院 長
循 環 器 疾 患 等	重政 千秋 富長 将人	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学 富長内科眼科クリニック	教 授 院 長
胃 が ん	三浦 邦彦 岡本 公男	鳥取県保健事業団西部本部 岡本医院	参 与 院 長
子 宮 が ん	寺川 直樹 大石 徹	鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学 産科婦人科大石医院	教 授 院 長
肺 が ん	清水 英治 中村 廣繁	鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学 鳥取大学医学部附属病院胸部外科	教 授 科 長
乳 が ん	石黒 清介 工藤 浩史	鳥取大学医学部附属病院第2外科 鳥取赤十字病院第二外科	講 師 部 長
大 腸 が ん	古城 治彦 宮崎 博実	山陰労災病院 宮崎内科医院	副 院 長 院 長
がん登録対策専門委員会	岸本 拓治	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学	教 授
脳卒中登録対策専門委員会	能勢 隆之	鳥取大学	学 長

印は各部会の部会長

別 記（11）（参 考）

肝臓がん抑制対策評価委員会・肝臓がん対策専門委員会

委 員 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
肝臓がん抑制対策評価委員会	村脇 義和	鳥取大学医学部統合内科医学講座機能病態内科学	教 授
肝臓がん対策専門委員会	川崎 寛中	山陰労災病院	院 長

成人病検診管理指導協議会部会委員

(順不同・アンダーラインは部会長) 平成17年4月1日現在

部 会 名	氏 名	職 名
循環器疾患等 計7名	<u>重 政 千 秋</u>	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学教授
	富 長 将 人	富長内科眼科クリニック院長
	浦 上 克 哉	鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座教授
	大 城 陽 子	西部総合事務所福祉保健局健康支援課課長
	小 竹 寛	小竹内科循環器クリニック院長
	宮 永 みどり	米子市健康対策課主幹
	米 谷 典 恵	鳥取県保健事業団普及係長
胃 が ん 計7名	<u>三 浦 邦 彦</u>	鳥取県保健事業団西部本部参与
	岡 本 公 男	岡本医院院長
	秋 藤 洋 一	岩美病院副院長
	謝 花 典 子	山陰労災病院第二消化器内科部長
	西土井 英 昭	鳥取赤十字病院副院長
	藤 木 尚 子	鳥取市中央保健センター保健師
	山 口 由 美	鳥取赤十字病院外科副部長
子 宮 が ん 計7名	<u>寺 川 直 樹</u>	鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学教授
	大 石 徹	産科婦人科大石医院院長
	大 下 以津子	湯梨浜町健康推進課係長
	紀 川 純 三	鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学助教授
	分 倉 千鶴子	鳥取大学医学部附属病院総合診療外科看護師長
	富 山 真 弓	鳥取県保健事業団中部支部細胞診検査係係長
	皆 川 幸 久	鳥取県立中央病院産婦人科部長
肺 が ん 計7名	<u>清 水 英 治</u>	鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学教授
	中 村 廣 繁	鳥取大学医学部附属病院胸部外科科長
	杉 本 勇 二	鳥取県立中央病院内科部長
	谷 口 玲 子	ひまわり内科クリニック院長
	長谷川 ゆかり	東部福祉保健局健康支援課課長
	村 上 弘 美	境港市健康対策課保健師
	山 家 武	鳥取県社会保険診療報酬支払基金専任審査員
乳 が ん 計7名	<u>石 黒 清 介</u>	鳥取大学医学部附属病院第二外科講師
	工 藤 浩 史	鳥取赤十字病院第二外科部長
	大久保 ひとみ	鳥取県保健事業団放射線係係長
	廣 岡 保 明	鳥取大学医学部附属病院第一外科講師
	深 田 民 人	鳥取県立厚生病院副院長
	村 田 陽 子	博愛病院乳腺外科部長
	山 崎 泉	琴浦町健康福祉課保健師

部 会 名	氏 名	勤 務 先	
大腸がん	古 城 治 彦 宮 崎 博 実 岸 清 志 木 村 修 田 淵 有香子 丸 山 み糸子 山 本 寛 子 計 7 名	山陰労災病院副院長 宮崎内科医院院長 鳥取県立中央病院医療局長兼外科部長 米子医療センター研究検査部長 鳥取市用瀬町総合支所福祉保健課スタッフ 鳥取県保健事業団中部支部支部長 鳥取県立中央病院	
成人病登録評価部会	がん登録委員会 計 7 名	岸 本 拓 治 井 本 八千代 岩 垣 陽 子 岡 本 幹 三 栗 原 達 郎 田 中 香寿子 能 勢 隆 之	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学教授 鳥取県立中央病院主任薬剤師 鳥取県医師会主任 鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学講師 クリ内科胃腸科クリニック院長 田中外科内科 鳥取大学学長
	脳卒中委員会 計 7 名	能 勢 隆 之 尾 崎 米 厚 岸 本 拓 治 北 窓 妙 子 小 林 達 子 谷 口 玲 子 宮 崎 博 実	鳥取大学学長 鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学助教授 鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学教授 中部総合事務所福祉保健局健康支援課課長 いなば幸朋苑部長 ひまわり内科クリニック院長 宮崎内科医院院長
肝臓がん抑制対策評価委員会	村 脇 義 和 川 崎 寛 中 安 藤 敦 子 石 指 智 子 景 山 佳余子 岸 本 幸 廣 松 田 裕 之 計 7 名	鳥取大学医学部統合内科医学講座機能病態内科学教授 山陰労災病院長 鳥取県保健事業団健診検査課臨床検査技師 大山町大山支所福祉課保健師 西部総合事務所福祉保健局健康支援課保健師 山陰労災病院消化器内科部長 鳥取赤十字病院第一内科部長	
母子保健対策協議会	長 田 昭 夫 神 崎 晋 大 野 耕 策 岡 本 博 文 前 田 隆 子 大 原 順 子 米 塚 美智代 計 7 名	鳥取県医師会長 鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期小児医学教授 鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設脳神経小児科教授 岡本小児科医院院長 鳥取大学医学部保健学科母性・小児家族看護学講座教授 東部福祉保健局健康支援課保健師 湯梨浜町健康推進課保健師	

平成17年度鳥取県健康対策協議会事業計画

()の数字は平成17年度予算額

(単位:千円)

1. がん登録対策専門委員会【委員長:岸本拓治(鳥大医社会医学講座環境予防医学教授)】

事業内容	摘要
1. がん登録及び集団検診の効果分析	1. 厚生労働省がん研究班参加
2. 出張採録と患者照合処理の効率化	2. 地域がん登録全国協議会総会研究会参加
3. 「鳥取県がん登録事業実施要綱」の改正 (1,702)	3. 第3次対がん総合戦略事業への参画

2. 胃がん対策専門委員会【委員長:岡本公男(県医師会副会長)】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討	1. 各地区読影委員会設置
2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査	2. 従事者講習会及び症例研究会(中部)
3. 胃がん検診精密検査医療機関登録	
4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の導入 (9,576)	

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長:大石 徹(産科婦人科大石医院院長)】

事業内容	摘要
1. 集団(車検診)検診実施状況の評価、検討、並びに円滑な運営。子宮体がん検診の対象者の見直しについての検討	1. 従事者講習会及び症例検討会(中部)
2. 「鳥取県子宮がん検診実施指針」一部改正 若年者の受診勧奨のあり方について検討	2. 子宮がん検診細胞診委員会設置
3. 検診における精度管理の向上と要精検者の綿密なフォロー	
4. 精密検査登録医の研修会出席及び検診事業に対する協力の推奨	
5. 精検結果の分析と確定調査 (662)	

4. 肺がん対策専門委員会【委員長:中村廣繁(鳥大医附属病院胸部外科科長)】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討	1. 従事者講習会及び症例研究会(中部)
2. 精密検査による肺がん確定診断の調査	2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置
3. 肺がん検診精密検査医療機関登録	
4. 肺がん医療機関検診実施 (11,701)	3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：工藤浩史（鳥取赤十字病院第二外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見乳がん患者の確定調査 4. 乳がん医療機関検診一次検診医登録 5. 「鳥取県乳がん検診実施指針」一部改正 6. マンモグラフィ併用検診体制整備 7. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 (9,951)	1. 従事者講習会及び症例検討会（中部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がんマンモグラフィ読影委員会設置

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：宮崎博実（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 4. 大腸がん検診注腸X線検査医療機関登録 (532)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（山陰労災病院院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (601)	1. 従事者講習会及び症例研究会（西部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：小竹 寛（小竹内科循環器クリニック院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 (8,856)	1. 一次精密検診公費負担 2. 各地区判読委員会設置

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥大医統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

事業内容	摘要
1. 児童虐待防止についての母子保健面からの対応 2. 妊産婦健診におけるプレネイタル事業、産後訪問看護事業についての検討 3. 母子保健に関する健診システムの検討（乳幼児健診票の見直しを含む）、評価方法の検討及び肥満児対策の取り組み 4. ハイリスク出生児に対応したシステムの構築及びハイリスク出生児の追跡調査 5. 先天異常モニタリングの精度管理と事業の継続 (1,274)	1. 鳥取県乳幼児健康診査票等の改正

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：岡本公男（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 鳥取県における大動脈瘤患者の発生頻度と治療の調査研究等（5項目） (2,050)	1. 在宅医療に関する疫学調査終了（平成16年度で終了） 2. 職場ですすめる健康づくりに関する調査を開始

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：武田 倬（鳥取県立中央病院院長）】

事業内容	摘要
1. 地域保健対策 2. 健康教育対策 3. 生活習慣病対策 (2,978)	1. 健康セミナー 2. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座） 3. 呼吸器ウイルス感染予防調査

12. 脳卒中登録対策専門委員会【委員長：能勢隆之（鳥取大学学長）】

事業内容	摘要
1. 脳卒中登録及び脳卒中对策の効果分析 (890)	

13. 循環器疾患等対策専門委員会【委員長：富長将人（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 基本健康診査実施状況の評価、検討 2. 個別健康教育実施状況の評価、検討 (376)	1. 従事者講習会（中部）

14. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：金井 要（鳥取県福祉保健部次長）】

事業内容	摘要
1. 健康に関連した情報の集積の在り方及びその活用方策に関する情報交換 (100)	

15. アレルギー性疾患対策専門委員会【委員長：三原基之（鳥取県病院局病院事業管理者）】

事業内容	摘要
1. 食物アレルギーのパンフレット作成に向けての意見交換 2. 関係者研修会（アレルギー性疾患）の開催 (337)	1. 「食物アレルギー」パンフレット作成 2. 研修会（中部）

平成17年度鳥取県健康対策協議会予算書

収入の部

(単位:千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1. 県 支 出 金		22,655	22,772	117	
1) 委 託 金		17,225	17,345	120	
(1) がん登録及び解析 事業費委託金		1,675	1,675	0	委託金1,595千円 + 消費税80千円
	1. がん登録及び解析 事業費委託金	1,675	1,675	0	
(2) 若年者心臓検診 事業費委託金		3,480	3,604	124	委託金3,314千円 + 消費税166千円
	1. 乳幼児・児童生徒 心臓疾患検査事業費	3,480	3,604	124	
(3) 疾病構造対策 事業費委託金		2,890	2,890	0	委託金2,752千円 + 消費税138千円
	1. 疾 病 構 造 対 策 事 業 費 委 託 金	2,890	2,890	0	
(4) 公衆衛生活動 事業費委託金		824	824	0	委託金785千円 + 消費税39千円
	1. 公 衆 衛 生 活 動 事 業 費 委 託 金	824	824	0	
(5) 脳卒中登録評価分析 事業費委託金		840	839	1	委託金800千円 + 消費税40千円
	1. 脳卒中登録評価分析 事業費委託金	840	839	1	
(6) 健康診査管理支援 事業費委託金		1,841	1,841	0	委託金1,753千円 + 消費税88千円
	1. 健康診査管理支援 事業費委託金	1,841	1,841	0	
(7) 生活習慣病対策セミ ナー事業費委託金		1,025	1,025	0	委託金976千円 + 消費税49千円
	1. 生活習慣病対策セミ ナー事業費委託金	1,025	1,025	0	
(8) がん検診精度確保 事業費委託金		2,771	2,772	1	委託金2,639千円 + 消費税132千円
	1. がん検診精度確保 事業費委託金	2,771	2,772	1	
(9) 肝臓がん征圧特別 対策事業費委託金		553	553	0	委託金527千円 + 消費税26千円
	1. 肝臓がん征圧特別 対策事業費委託金	553	553	0	
(10) 肺がん医療機関検診 読影委員会開催 事業費委託金		595	595	0	委託金567千円 + 消費税28千円
	1. 肺がん医療機関検診 読影委員会開催 事業費委託金	595	595	0	
(11) 母子保健推進体制 整備事業費委託金		434	430	4	委託金413千円 + 消費税21千円
	1. 母子保健推進体制 整備事業費委託金	434	430	4	
(12) アレルギー性疾患 対策事業費委託金		297	297	0	委託金283千円 + 消費税14千円
	1. アレルギー性疾患 対策事業費委託金	297	297	0	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
2) 県 負 担 金		5,430	5,427	3	
(1) 事務局強化対策 負担金		5,430	5,427	3	
	1. 事務局強化対策 負担金	5,430	5,427	3	
2. 保健事業団支出金		23,916	20,566	3,350	
1) 委 託 金		23,516	20,166	3,350	
(1) 胃集検読影 事業費委託金		8,490	8,836	346	@330×24,500件 +消費税405千円
	1. 胃集検読影 事業費委託金	8,490	8,836	346	
(2) 子宮がん検診 事業費委託金		226	226	0	{ 細胞診1次@400×200件 最終判定@900×150件 消費税11千円
	1. 子宮がん検診 事業費委託金	226	226	0	
(3) 肺がん検診 事業費委託金		4,552	4,846	294	{ 間接フィルム読影料 @70×61,000件 細胞診1次@400×50件 最終判定@900×50件 消費税217千円
	1. 肺がん検診 事業費委託金	4,552	4,846	294	
(4) 乳がん検診 事業費委託金		5,292	1,260	4,032	マンモグラフィ読影料 @600×8,400件 消費税252千円
	1. 乳がん検診 事業費委託金	5,292	1,260	4,032	
(5) 若年者心臓検診 事業費委託金		4,956	4,998	42	@200×23,600件 +消費税236千円
	1. 心電図判読検査 事業費委託金	4,956	4,998	42	
2) 補 助 金		400	400	0	
(1) 各専門委員会連絡 調整補助金		400	400	0	
	1. 各専門委員会連絡 調整補助金	400	400	0	
3. 市町村委託金		10,455	5,880	4,575	
1) 委 託 金		10,455	5,880	4,575	
(1) 肺がん医療機関検診 事業費委託金		6,300	5,880	420	@420×15,000件 (内税300,000円)
	1. 肺がん医療機関 検診事業費委託金	6,300	5,880	420	
(2) 乳がん検診 事業費委託金		4,155	0	4,155	(新)@630×6,595件 (内税197,850円)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	4,155	0	4,155	
4. その他委託金		1,538	1,464	74	
1) 委 託 金		1,538	1,464	74	
(1) 若年者心臓検診 事業費委託金		420	504	84	山陰予防医学研究所 @210×2,000件 (内税20,000円)
	1. 心電図判読検査 事業費委託金	420	504	84	
(2) 胃集検読影 事業費委託金		842	842	0	中国労働衛生協会 @330×2,430件 +消費税40千円
	1. 胃集検読影 事業費委託金	842	842	0	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
(3) 肺がん検診 事業費委託金		118	118	0	中国労働衛生協会 @120×930件+消費税6千円
	1. 肺がん検診 事業費委託金	118	118	0	
(4) 乳がん検診 事業費委託金		158	0	158	中国労働衛生協会 (新)@630×250件 (内税7,500円)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	158	0	158	
5. 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
1) 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
(1) 運営費補助金		1,300	1,300	0	
	1. 運営費補助金	1,300	1,300	0	
6. 寄 付 金		1	1	0	
1) 寄 付 金		1	1	0	
(1) 寄 付 金		1	1	0	
	1. 寄 付 金	1	1	0	
7. 諸 収 入		1	1	0	
1) 預 金 利 子		1	1	0	
(1) 預 金 利 子		1	1	0	
	1. 預 金 利 子	1	1	0	
8. 繰 越 金		1,279	1,732	453	
1) 前年度繰越金		1,279	1,732	453	
(1) 前年度繰越金		1,279	1,732	453	
	1. 前年度繰越金	1,279	1,732	453	
収 入	合 計	61,145	53,716	7,429	

支出の部

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1. 総 務 費		6,738	6,715	23	
1) 会 議 費		830	850	20	
(1) 理 事 会 費		830	850	20	
	9. 旅 費	320	340	20	理事会(1回)304,000円、車代16,000円
	11. 需 用 費	490	490	0	理事会会議諸費200,000円 新聞購読料36,084円 印刷代200,000円 消耗品費53,916円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費
2) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費		1,086	1,117	31	
(1) 各 専 門 委 員 会 連 絡 調 整 費		1,086	1,117	31	
	9. 旅 費	800	864	64	総合部会330,000円 一般旅費252,760円 調査研究旅費187,920円 車代29,320円
	11. 需 用 費	165	132	33	コピー代50,000円 会議費40,000円 印刷代50,000円 消耗品費25,000円
	12. 役 務 費	121	121	0	電話代71,000円、切手代50,000円
3) 給 料		4,130	4,127	3	専従職員1名分
(1) 給 料		4,130	4,127	3	
	2. 給 料	4,130	4,127	3	
4) 公 租 公 課 費		692	621	71	
(1) 公 租 公 課 費		692	621	71	
	27. 公 租 公 課 費	692	621	71	52,734千円(委託金合計)に係る公租公課費 公租公課費692,000円 健康対策費のうち以下の項目で公租公課費を支出 胃がん対策費 186,000円 子宮がん対策費 4,000円 肺がん対策費 219,000円 乳がん対策費 192,000円 心電図判読料 107,000円 小 計 708,000円 合 計 1,400,000円
2. 健 康 対 策 費		54,407	47,001	7,406	
1) がん 登 録 対 策 費		1,702	1,963	261	
(1) がん 登 録 費		1,702	1,963	261	
	7. 賃 金	504	556	52	登録事務補助員賃金@800×630時間
	9. 旅 費	335	301	34	専門委員会(1回)130,000円 小委員会(1回)43,120円 地域がん登録全国協議会差額支給(東京)49,280円 診断票検査旅費108,000円、車代
	11. 需 用 費	230	337	107	印刷代(診断票、封筒等)100,000円、 会議費23,000円 消耗品費57,000円 コピー代50,000円

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
2) 胃がん対策費 (1) 胃がん対策費	12. 役 務 費	120	86	34	後納郵便料金、通信運搬費
	13. 委 託 料	450	100	350	コンピュータシステム変更料
	14. 賃 借 料	63	583	520	コンピュータリース料62,370円
		9,576	9,938	362	
		9,576	9,938	362	
	4. 共 済 費	478	472	6	臨時的任用職員(3人) 社会保険料293,157円 読影委員傷害保険料184,000円
	7. 賃 金	3,511	3,511	0	臨時的任用職員3人分賃金
	8. 報 償 費	4,121	4,336	215	講習会講師謝金88,888円 読影謝金 @10,752 × 375人 = 4,032,000円
	9. 旅 費	500	580	80	専門委員会(2回)330,000円 車代等17,640円 中国四国胃集検の会(鳥根)98,360円 がん征圧大会4,000円 講習会旅費(1回)20,000円 胃がん検診発見患者確定調査30,000円
	11. 需 用 費	690	756	66	コピー代20,000円、消耗品費20,000円 会議費37,500円、会報印刷代50,000円 各地区読影会事務費562,500円
	12. 役 務 費	90	90	0	通信運搬費40,000円 送金手数料50,000円
	27. 公租公課費	186	193	7	委託金9,332千円 × 2.0% = 186,640円
3) 子宮がん対策費 (1) 子宮がん対策費		662	662	0	
		662	662	0	
8. 報 償 費	287	287	0	講習会講師謝金88,888円 細胞診一次謝金@350 × 200件 最終判定謝金 @850 × 150件	
9. 旅 費	300	300	0	専門委員会(2回)250,000円、車代 講習会旅費(1回)10,000円 子宮がん検診発見患者確定調査30,000円	
11. 需 用 費	42	42	0	コピー代11,000円、会議費20,000円 会報印刷代11,000円	
12. 役 務 費	29	29	0	通信運搬費	
27. 公租公課費	4	4	0	委託金226千円 × 2.0% = 4,520円	
4) 肺がん対策費 (1) 肺がん対策費		11,701	11,575	126	
		11,106	10,980	126	
4. 共 済 費	107	105	2	臨時的任用職員(3人)社会保険料	
7. 賃 金	1,291	1,291	0	臨時的任用職員3人分賃金	
8. 報 償 費	7,454	7,425	29	講習会講師謝金88,888円 フィルム読影料(間接)@35 × 61,930件 読影謝金(間接単独) @8,421 × 180人 " (直接単独) @8,421 × 330人 " (間接+直接) @10,526 × 80人 細胞診一次謝金 @350 × 50件 最終判定謝金 @850 × 50件	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
	9 . 旅 費	560	556	4	専門委員会 (2 回) 300,000円 車代10,000円 講習会講師旅費30,000円 肺癌集検セミナー180,000円 講習会旅費 (1 回) 10,000円 肺がん検診発見患者確定調査30,000円
	11 . 需 用 費	1,355	1,243	112	コピー代20,000円、会議費33,000円 宿泊代12,000円、印刷代40,000円、消耗 品費10,000円 パソコン更新代200,000円 各地区読影会会場費 @3,000 × 160回 地区医師会事務費 560,000円
	12 . 役 務 費	120	143	23	通信運搬費
	27 . 公租公課費	219	217	2	委託金10,970千円 × 2.0% = 219,400円
(2) 肺がん医療機関検診 読影委員会対策費		595	595	0	
5) 乳がん対策費	9 . 旅 費	265	265	0	肺がん医療機関検診読影委員会 (3 回) 265,000円
	11 . 需 用 費	239	239	0	コピー代100,000円、会議費59,000円 消耗品費70,000円、印刷代10,000円
	12 . 役 務 費	91	91	0	通信運搬費
	(1) 乳がん対策費	9,951	1,830	8,121	
	8 . 報 償 費	7,712	1,089	6,623	講習会講師謝金88,888円 マンモグラフィ読影料 @250 × 2 人 × 15,245件
	9 . 旅 費	515	450	65	専門委員会 (2 回) 289,220円 車代15,780円 講習会講師旅費15,000円 講習会旅費15,000円 乳がん検診発見患者確定調査30,000円 マンモグラフィ検診打合せ150,000円
	11 . 需 用 費	1,412	196	1,216	会議費50,000円、会報印刷代50,000円 消耗品費104,300円、宿泊代12,000円 コピー代100,000円 読影に係る事務費395,700円 シャーカステン購入代金700,000円(3 台)
	12 . 役 務 費	120	70	50	通信運搬費
27 . 公租公課費	192	25	167	委託金9,605千円 × 2.0% = 192,100円	
6) 大腸がん対策費		532	532	0	
(1) 大腸がん対策費		532	532	0	
	8 . 報 償 費	89	89	0	講習会講師謝金88,888円
	9 . 旅 費	380	380	0	専門委員会 (2 回) 320,000円 車代10,000円 講習会及び症例研究会旅費20,000円 大腸がん検診発見患者確定調査30,000円
	11 . 需 用 費	40	40	0	会報印刷代20,000円、会議費20,000円
	12 . 役 務 費	23	23	0	通信運搬費
7) 肝臓がん対策費		601	553	48	
(1) 肝臓がん対策費		601	553	48	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
	8 . 報 償 費	89	89	0	講習会講師謝金88,888円
	9 . 旅 費	375	360	15	専門委員会（2回）300,000円 車代10,000円 講習会及び症例研究会旅費35,000円 肝臓がん検診発見患者確定調査30,000円
	11 . 需 用 費	87	67	20	会報印刷代20,000円、会議費40,000円 宿泊代12,000円、コピー代15,000円
	12 . 役 務 費	50	37	13	通信運搬費
8) がん検診精度 確保対策費		2,821	2,822	1	
(1) がん検診精度 確保対策費		2,821	2,822	1	
	8 . 報 償 費	1,357	1,507	150	講習会講師謝金（5人）280,000円 各がん検診症例研究会謝金1,077,000円
	9 . 旅 費	571	521	50	各がん検診症例研究会旅費571,000円
	11 . 需 用 費	798	728	70	報告書印刷代650,000円、会議費48,000円 資料印刷代70,000円、消耗品費30,000円
	12 . 役 務 費	95	66	29	通信運搬費
9) 若年者心臓検診 対策費		8,856	9,106	250	
(1) 心臓検診費		3,480	3,604	124	
	9 . 旅 費	2,180	2,417	237	専門委員会（1回）157,600円 打合せ（1回）77,520円、車代22,160円 心臓検診一次検診に係る旅費1,728,760円 若年者心疾患対策協議会旅費（高知） 193,960円
	11 . 需 用 費	1,080	998	82	消耗品費（心電図記録用紙、電極アダプ タ等）510,000円 心臓手帳20,000円、会場設営費450,000円 東部・西部医師会会場費60,000円 会議費40,000円
	12 . 役 務 費	120	89	31	心エコー運送料60,000円 通信運搬費60,000円
	14 . 使 用 料	100	100	0	心エコー借上料100,000円
(2) 心電図判読料		5,376	5,502	126	
	8 . 報 償 費	4,608	4,716	108	心電図判読料@180×25,600件
	9 . 旅 費	175	175	0	専門委員会（1回）、症例報告会（1回）
	11 . 需 用 費	399	399	0	コピー代、会議諸費、消耗品費、スライ ド代、各地区事務費@10×25,600件
	12 . 役 務 費	87	102	15	通信運搬費
	27 . 公租公課費	107	110	3	委託金5,376千円×2.0% = 107,520円
10) 母子保健対策費		1,274	1,270	4	
(1) 母子保健対策費		840	840	0	
	8 . 報 償 費	500	500	0	調査研究謝金
	9 . 旅 費	200	200	0	小委員会（3回）
	11 . 需 用 費	80	80	0	消耗品費15,000円、コピー代20,000円 小委員会会議諸費45,000円

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
	12. 役 務 費	60	60	0	通信運搬費
(2) 母子保健対策協議会対策費		434	430	4	
	9. 旅 費	290	290	0	専門委員会(2回)280,000円、車代
	11. 需 用 費	100	100	0	消耗品費25,000円、コピー代30,000円 会議費20,000円、会報印刷代25,000円
	12. 役 務 費	44	40	4	通信運搬費
11) 県民健康対策費		2,050	2,050	0	
(1) 疾病構造調査研究費		2,050	2,050	0	
	8. 報 償 費	1,850	1,850	0	調査研究謝金(5項目)
	9. 旅 費	40	45	5	専門委員会(1回)38,120円、車代
	11. 需 用 費	140	135	5	報告書印刷製本費135,000円 会議費5,000円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費
12) 公衆衛生活動費		2,978	2,978	0	
(1) 地域保健対策費		660	660	0	
	8. 報 償 費	150	150	0	「健康なんでも相談室」原稿料 @5,000×30回
	9. 旅 費	90	90	0	専門委員会(1回)
	11. 需 用 費	410	410	0	呼吸器ウイルス感染検査関連試薬代 400,000円 会議費10,000円
	12. 役 務 費	10	10	0	
(2) 健康教育対策費		1,063	1,063	0	
	8. 報 償 費	619	564	55	健康セミナー講師謝金(2人) 333,333円 各地区健康教育活動講演会講師謝金 270,000円 保健の窓原稿料@5,000×6回
	9. 旅 費	120	170	50	健康セミナー講師旅費30,000円 車代10,000円 健康セミナー関係者旅費50,000円 各地区健康教育活動に係った出席旅費 30,000円
	11. 需 用 費	246	251	5	会議諸費90,000円、宿泊代20,000円 消耗品費63,500円、印刷代72,500円
	12. 役 務 費	78	78	0	通信運搬費
(3) 公開健康講座対策費		230	230	0	
	8. 報 償 費	120	120	0	保健の窓原稿料@5,000×8回 講師謝金@20,000×4回=80,000円
	9. 旅 費	30	30	0	講師旅費16,900円、車代
	11. 需 用 費	60	60	0	スライド代40,000円、会議費20,000円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費
(4) 生活習慣病対策セミナー対策費		1,025	1,025	0	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
	8.報 償 費	560	560	0	保健の窓原稿料@5,000×16回 講師謝金@20,000×24回=480,000円
	9.旅 費	30	30	0	講師旅費20,680円、車代
	11.需 用 費	400	400	0	印刷代160,000円、スライド代240,000円
	12.役 務 費	35	35	0	通信運搬費
13)脳卒中登録対策費		890	889	1	
(1)脳卒中登録費		890	889	1	
	7.賃 金	320	320	0	脳卒中登録解析補助員賃金 @800×400時間
	9.旅 費	180	180	0	専門委員会(1回)120,000円 検討会50,000円、車代
	11.需 用 費	340	300	40	実績報告書印刷代180,000円 会議費10,000円 コピー代20,000円、消耗品費130,000円
	12.役 務 費	50	89	39	通信運搬費
14)循環器疾患等 対 策 費		376	396	20	
(1)循環器疾患等 対 策 費		376	396	20	
	8.報 償 費	89	89	0	講習会講師謝金88,888円
	9.旅 費	221	241	20	専門委員会(2回)210,000円 車代11,000円
	11.需 用 費	46	46	0	会議費26,000円、コピー代20,000円
	12.役 務 費	20	20	0	通信運搬費
15)地域医療研修及び 健康情報対策費		100	100	0	
(1)地域医療研修及び 健康情報対策費		100	100	0	
	9.旅 費	80	80	0	専門委員会(1回)
	11.需 用 費	20	20	0	会議諸費等
16)アレルギー性 疾患対策費		337	337	0	
(1)アレルギー性 疾患対策費		337	337	0	
	8.報 償 費	56	56	0	研修会講師謝金55,555円
	9.旅 費	230	230	0	専門委員会(2回)220,000円 研修会旅費10,000円
	11.需 用 費	31	31	0	会議費23,000円、コピー代4,000円 消耗品費4,000円
	12.役 務 費	20	20	0	通信運搬費
支 出 合 計		61,145	53,716	7,429	

平成17年度鳥取県健康対策協議会予算の概要

(単位：千円)

事業名	支出予算額	収入予算額					
		県支出金	事業団支出金	市町村委託金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1.がん登録対策	1,702	1,675				27	
2.胃がん対策	9,576	136	8,490		842	24	84
3.子宮がん対策	662	346	226			20	70
4.肺がん対策	11,701	731	4,552	6,300	118		
5.乳がん対策	9,951	296	5,292	4,155	158	50	
6.大腸がん対策	532	331				70	131
7.肝臓がん対策	601	553				48	
8.がん検診精度確保対策	2,821	2,771				50	
9.若年者心臓検診対策	8,856	3,480	4,956		420		
10.母子保健対策	1,274	1,274					
11.県民健康対策	2,050	2,050					
12.公衆衛生活動対策	2,978	1,849	400			510	219
13.脳卒中登録対策	890	840				50	
14.循環器疾患等対策	376	320				56	
15.地域医療研修及び健康情報対策	100					100	
16.アレルギー性疾患対策	337	297				40	
17.総務費	6,738	5,706				255	777
合計	61,145	22,655	23,916	10,455	1,538	1,300	1,281

鳥取県健康対策協議会特別事業・予算

1. 定期預金 (単位:円)

科目	年度初現在高	摘要
1. 定期預金積立	4,003,853	鳥取銀行本店
計	4,003,853	

2. 普通預金収支

科目	年度初現在高	支出予算額	差引残額	摘要
1. 収入				
前年度繰越金	1,713,099			
2. 支出				
C型肝炎ウイルス 母子感染調査関係費		300,000		C型肝炎ウイルス検査検査料250,000円 通信運搬費10,000円 関係用紙印刷代40,000円
計	1,713,099	300,000	1,413,099	

平成17年度鳥取県健康対策協議会会長表彰被表彰者候補者名簿

(敬称略)

氏名	略歴	功績概要
田中吉紀	平成24.4.1～現在(15年) ・鳥取県健康対策協議会理事 平成24.4.1～現在(15年) ・公衆衛生活動対策専門委員会委員	多年に亘り本協議会役員並びに専門委員会委員として、公衆衛生活動事業の推進向上に貢献した功績は、極めて顕著である。 また、疾病構造の地域特性対策専門委員会の分門で「MRSA」対策の研究に尽力頂きました。
小竹 寛	平成15.4.1～現在(2年) ・鳥取県健康対策協議会理事 昭和63.4.1～平成7.3.31(8年) 平成14.4.1～平成15.3.31 ・若年者心臓検診対策専門委員会委員 平成15.4.1～現在(2年) ・若年者心臓検診対策専門委員会委員長 昭和62.6.15～平成7.3.31(7年9ヶ月) ・脳卒中登録対策専門委員会委員 昭和61.4.1～平成7.3.31(16年) 平成10.4.1～現在 ・循環器疾患等対策専門委員会委員 昭和61.4.1～平成10.3.31(12年) ・西部地区心電図判読委員会委員 平成10.4.1～現在(7年) ・西部地区心電図判読委員会委員長	多年に亘り本協議会役員並びに専門委員会委員長、心電図判読委員長として、児童生徒の心臓検診事業、成人の循環器疾患等対策事業の推進向上に貢献した功績は、極めて顕著である。

鳥取県健康対策協議会従事者講習会等のご案内

乳がん検診従事者講習会及び症例研究会

- 日 時** 平成17年7月30日(土)
午後4時～午後5時 講演
午後5時～午後5時30分 症例検討会
午後5時30分～午後6時 一次検診医登録講習
- 場 所** 鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町 電話(0858)23-1321
- 内 容**

1) 乳がん検診従事者講習会

演 題: 「マンモグラフィの石灰化病変に対する診断の現状」(仮題)

講 師：鳥取県立厚生病院外科医長 林 英一先生

- 2) 第13回鳥取県検診発見乳がん症例検討会
- 3) 一次検診医登録講習

(1) 乳がん検診精密検査医療機関登録条件

- 1) 乳がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に20点以上取得すること。
- 2) 次回更新手続きは平成19年度中に行います。

(2) 乳がん医療機関検診一次検診医登録条件

- 1) 過去3年間に、乳がん検診従事者講習会等の受講点数を12点以上取得し、また、乳がん検診従事者講習会及び鳥取県発見乳がん症例検討会に必ず1回は出席していること。新規に登録される方は、一次検診医登録講習会も受講すること。
- 2) 更新手続きは平成17年度中に行います。

- (3) 乳がん検診精密検査医療機関登録点数 5点
乳がん医療機関検診一次検診医登録点数 5点

基本健康診査従事者講習会

日 時 平成17年8月20日(土)午後4時～午後5時
場 所 鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町 電話(0858)23-1321
演 題 「不整脈の診断と治療」
講 師 鳥取県立厚生病院循環器科部長 澤口正彦先生

大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会

日 時 平成17年8月27日(土)午後4時～午後6時
場 所 鳥取県健康会館(鳥取県医師会館) 鳥取市戎町 電話(0857)27-5566
演 題 「大腸がん最近の話題」
講 師 鳥取大学医学部附属病院第2内科講師 八島一夫先生

(1) 大腸がん検診精密検査医療機関登録及び大腸がん検診注腸X線検査医療機関登録条件

- 1) 大腸がん検診従事者講習会を少なくとも3年に1度は受講すること。
- 2) 大腸がん検診従事者講習会等の受講点数を過去3年間に15点以上取得すること。
- 3) 次回更新手続きは平成19年度中に行います。

- (2) 大腸がん検診精密検査医療機関登録点数 5点
大腸がん検診注腸X線検査医療機関登録点数 5点